

第27回 2016年4月29日(金・祝)・30日(土)・5月1日(日) 東京国際コイン・コンヴェンション

27th TOKYO INTERNATIONAL COIN CONVENTION 2016. 4. 29,30, 5.1

東京・日本橋 入場無料
ロイヤルパークホテル3階

5月1日はコインの日!

特集

近代銀貨の歴史

激動の時代をささえた貨幣



期間中 無料鑑定・相談コーナーを設置



主催/日本貨幣商協同組合

お問い合わせ

東京都港区新橋2-16-1 ニュー新橋ビル409
TEL.03-3508-1701 FAX.03-3593-1029

■日本貨幣商協同組合ホームページ <http://www.jnda.or.jp/>

- 後援/出展/独立行政法人造幣局・独立行政法人国立印刷局
- 後援/外務省・文化庁・日本赤十字社・中央区・カナダ大使館・フランス大使館・英国大使館 貿易・対英投資部
- 協賛/(株)ロイヤルパークホテル



A LIFE IN THREE ACTS

20 EURO SILVER COIN SERIES:
WOLFGANG – AMADEUS – MOZART



Wolfgang Amadeus Mozart: arguably the three most famous words in musical history. Wolfgang, Amadeus and Mozart are the names on three silver coins dedicated to Austria's most famous son, each of which explores a different phase in Mozart's short but prolific life, as well as one of his famous stage productions from that phase.

AUSTRIAN MINT – INVEST. COLLECT. GIVE.

www.austrian-mint.at

第27回東京国際コイン・コンヴェンション開催にあたって

Welcome to the 27th Tokyo International Coin Convention



平成28年4月
日本貨幣商協同組合
理事長 佐孝恵次

April, 2016
Japan Numismatic Dealers Association
Chairman **Keiji Sako**

我が国で唯一の国際的コインショーであります。東京国際コイン・コンヴェンションを今年も開催の運びとなりました。開催にあたり、ご後援とご出展を独立行政法人造幣局並びに独立行政法人国立印刷局、ご後援を外務省、文化庁、日本赤十字社、中央区、在日各国大使館様より賜り、心より感謝申し上げます。また各地の古銭会や貨幣研究会、収集家の皆様にも多大なるご協力を頂きお礼申し上げます。

今年の展示テーマは「近代銀貨の歴史～激動の時代をささえた貨幣～」です。

「太平の眠りを覚ます上喜撰 たった四杯で夜も眠れず」迫り来る欧米の脅威から我が国は近代国家へと舵を切り、西欧から様々なものを取り入れます。貨幣も同様に、それまでの両・分・朱・文の四進法から、円・銭・厘の十進法に変え、竜の金・銀・銅貨が誕生いたします。今回はその中でも銀貨にスポットを当て、その魅力などをご紹介しますと考えております。

「今日は何の日？」日本貨幣商協同組合が申請をし、5月1日を「コインの日」と登録させて頂きました。5月1日はメーデーでもあります、1840年、世界初の切手「ペニーブラック」の発行日でもあります。これに新しく「コインの日」を加えていただき貨幣収集の楽しさを広げていきたいと思っております。

The Tokyo International Coin Convention, which is the only international coin convention in Japan, will begin soon. On this occasion, I would like to express my sincere gratitude to the Japan Mint and the National Printing Bureau for their continued support and participation, to the Ministry of Foreign Affairs, the Agency for Cultural Affairs, the Japanese Red Cross Society, and Chuo City in Tokyo as well as various foreign embassies in Japan for their participation. My thanks go as well to numismatic clubs, study groups and collectors throughout Japan for their most welcome cooperation.

The theme of this year's exhibition is "History of Modern Silver Coins --- Coins Supported Turbulent Times ---."

A parodic tanka poem of the era says: "Peaceful quiet world; was disturbed by steam-powered ships; Just four boats are enough; to have brought sleepless nights." In order to prepare for threats from Western countries, Japan shifted from a feudal state to a modern state and introduced many things from Western Europe. The currency system also changed from the quaternary system of ryo, bu, shu, and mon to the decimal system of yen, sen, and rin; and dragon coins of gold, silver and copper were born. This year's convention casts a new light on silver coins, hoping to spotlight on their charms.

May 1st has been designated "Coin's Day" by the Japan Anniversary Association at the request of the Japan Numismatic Dealers Association. May 1 is known as May Day as well as the anniversary date of issue of the world's first stamp "Penny Black". Now, "Coin's Day" has been added. We would like you to remember "Coin's Day" and through it to enrich the pleasure you receive from your numismatic collection.

 **The Singapore Mint**

www.singaporemint.com

More than just coins

高品質をお届けし、革新し続けることに全力を注いでいます



ウルトラハイレリーフ鑄造は
通常のレリーフの高さの
最大4倍

ブータンからお届けする 「最も幸せな干支コインシリーズ」初登場

ブータン 干支シリーズコインの デザイナーによる限定サイン会

あなたの鑑定書にブータンの干支シリーズのデザイナー、
ワン・ル・シェン氏からサインがもらえます。

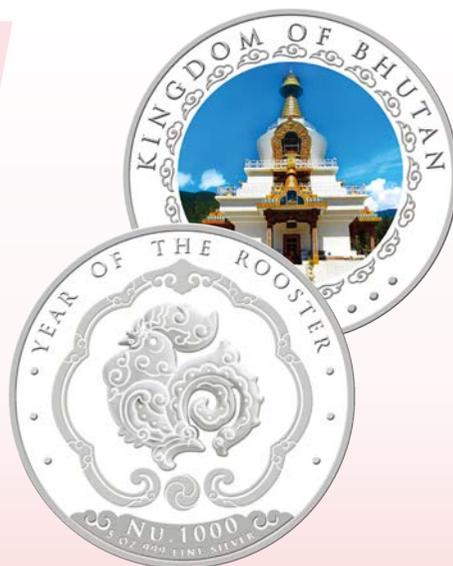
日付:2016年4月29日~2016年5月1日

時間:午前11時~12時、午後2時~3時

場所:ブース番号No.M5



次回の ブータン干支コイン 「鶏」



販売代理店

泰星コイン株式会社
TAISEI COINS CORPORATION

〒170-0013 東京都豊島区南池袋2丁目23番2号 UBG南池袋ビル1F
TEL 03-3590-8233 FAX 03-3590-7088
<http://www.taiseicoins.co.jp>

To our Japanese Coin Collector friends from The Singapore Mint



イップ・パク・リン造幣局長

今年は日本とシンガポールの外交関係樹立50周年の年です。両国では、この50年間の絆を記念する一連の「S.J50 (シンガポールー日本)」祝賀行事が行われています。また、シンガポール国民は日本文化への愛を共有してきました。我が国においても、シンガポール国民、日本人コミュニティ双方が参加して様々なS.J50行事が開催されています。

シンガポール造幣局の様々なコインを、友人である尊敬すべき日本の収集家の皆さんにご覧いただく機会を得ることができ、光栄に思っています。伝統的な職人芸と最先端の鑄造技術の融合が、私たちシンガポール造幣局の誇るところです。私たちは革新的技術を常に取り入れながら、精度の高い鑄造技術を実現し、傑作を生みだしてきました。独特の鑄造効果を加えた革新的なコインの数々を皆さんにご披露できることを大変光栄に思います。この特別な鑄造効果には、ウルトラハイレリーフ鑄造法や部分的な金メッキ、特殊な形のコイン、縁なし鑄造のほか、方向でつながる目を見張るようなパズルセットもございます。



最後にシンガポール造幣局を代表し、この機会を利用してJNDAおよびこの栄えある東京国際コイン・コンヴェンション実行委員会に心からの感謝の意を表し、お祝いを申し上げます。ありがとうございました。みなさんぜひ私たちの展示をご覧にいらしてください。ブース番号はM5です。

このたび、2016年東京国際コイン・コンヴェンションに主賓としてお招きいただくことは、シンガポール造幣局にとって大変栄誉なことです。

高品質をお届けし、革新し続けることに熱意を注いできた私たちシンガポール造幣局は、2016年東京国際コイン・コンヴェンションへの参加を通じ、日本のコレクターの皆さんに革新的な鑄造技術と高品質なプルーフ仕上げを施した多彩なコインの数々をご紹介できることを光栄に思います。



また、この名高いコイン展覧会という機会に、初登場の「最も幸せな干支コイン」シリーズをご紹介します。ブータン王国から発行されるこの「最も幸せな干支コイン」シリーズは、ウルトラハイレリーフ鑄造法で鑄造されています。これは、通常の最大4倍の高さで素晴らしいレリーフを鑄造するという、技術的な大躍進を成し遂げたものです。今回の名誉あるコイン展示会に参加される尊敬すべき日本のコインコレクターの皆さんに、さらに価値を提供するため、ブータンの干支シリーズのデザイナーであるワンル・シェン氏をTICCにお招きして、限定サイン会を開催します。

シンガポール造幣局は、シンガポールの硬貨だけでなく、様々な国の硬貨の鑄造も手掛けています。ブータン王国の指定を受けた造幣局として、この「幸せの国」のコインを特別展示させていただきます。ブータンは仏教国であり、私たちはブータン王国が発行する「世界仏教遺産シリーズ」も手掛けています。このシリーズには8種類があり、各コインの表面は、それぞれ有名な仏陀の像が取り上げられた複雑な鑄造となっており、世界の仏教の豊かな歴史を称えています。シンガポール造幣局によって鑄造されたブータンの記念コインはほかに、戴冠式コインやロイヤルウェディングコイン、第4代国王の60歳のお祝いのコインなどがあります。



Beatrix Potter™
150
years



CELEBRATE THE WONDERFUL WORLD OF BEATRIX POTTER™

英国王立造幣局は、ビアトリクス・ポター生誕150年を記念して、
その生涯を称える50ペンスコインシリーズを発行します。

royalmint.com

BEATRIX POTTER™ © Frederick Warne & Co. 2016

Treasure for Life™

TREASURES OF THE SPANISH MUSEUMS III

スペインの美術館シリーズ 第3次 王立スペイン造幣局初のカラーコイン

春 (1)



アルチンボルド

ボルハ枢機卿の肖像 (1)



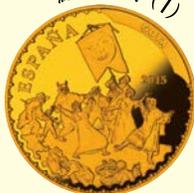
ベラスケス

フェルナンド7世の騎馬像 (1)



ゴヤ

鱈の埋葬 (1)



スザンナと老人たち (1)



ルーベンス

聖アウグスティヌスと両側に立つキリストと母聖 (1)



川から救われるモーセ (2)



ティントレット

ヘレネーの強姦 (2)



偉大なキャプテン (2)



マドラオン

イサベル2世 (2)



(1) © Museo Real Academia de Bellas Artes de San Fernando
 (2) © Museo Nacional del Prado



Real Casa de la Moneda
 Fábrica Nacional
 de Moneda y Timbre

www.fnmt.es

IMPRESA NACIONAL-CASA DA MOEDA, S. A.
PORTUGUESE MINT AND OFFICIAL PRINTING OFFICE
WWW.INCM.PT

INCM

NUMISMATIC PROGRAM PORTUGAL 2016



SPORT HEROES **EUSÉBIO**



EUROPE SERIES **THE MODERNISM**



UNESCO SERIES - INTANGIBLE CULTURAL HERITAGE
OF HUMANITY **POLYPHONIC SINGING FROM ALENTEJO**



ENDANGERED SPECIES **IBERIAN LYNX**



PORTUGUESE ETHNOGRAPHIC TREASURES
BARCELOS CERAMICS



QUEENS OF EUROPE SERIES **CATARINA DE BRAGANÇA**



THE FIFTY YEARS OF 25TH APRIL BRIDGE

地方自治法施行60周年記念貨幣のお知らせ

地方自治法施行60周年を記念するため、47都道府県ごとの図柄による記念貨幣が、平成20年度から順次発行されており、平成28年度前半の福島県・東京都で、47都道府県すべての記念貨幣が発行されることとなります。

平成28年度前半発行予定の都県

東京都

福島県

千円銀貨幣(カラートコイン)



500円ハイカラー
クラッド貨幣



既に発行された道府県

- | | |
|-----------|------------------------------|
| 平成20年度 | 北海道、京都府、島根県 |
| 平成21年度 | 長野県、新潟県、茨城県、奈良県 |
| 平成22年度 | 高知県、岐阜県、福井県、愛知県、青森県、佐賀県 |
| 平成23年度 | 富山県、鳥取県、熊本県、滋賀県、岩手県、秋田県 |
| 平成24年度 | 沖縄県、神奈川県、宮崎県、栃木県、大分県、兵庫県 |
| 平成25年度 | 宮城県、広島県、群馬県、岡山県、静岡県、山梨県、鹿児島県 |
| 平成26年度 | 愛媛県、山形県、三重県、香川県、埼玉県、石川県 |
| 平成27年度 | 山口県、徳島県、福岡県、和歌山県、大阪府、長崎県、千葉県 |
| 今後発行予定の都県 | 平成28年度 福島県、東京都 |

千円銀貨幣は造幣局での通信販売となります。500円記念貨幣は金融機関での引換えのほか、一部を造幣局で貨幣セットとして販売します。詳しくは造幣局ホームページをご覧ください。なお、福島県の千円銀貨幣は4月下旬頃、また、東京都の千円銀貨幣は5月中旬頃申込受付開始の予定です。

ICDC2015メダル

造幣局が主催する国際コイン・デザイン・コンペティション(ICDC)2015の最優秀賞を銀メダルに仕上げました。



テーマ:美術史にみられるヘラクレス神話
 作者:フランチェスコ・プロコピオ氏(イタリア)
 販売予定価格 4,000円(消費税込)
 ※金メダルの通信販売も予定しております。
 販売要領は、後日造幣局ホームページ等でお知らせいたします。

第27回東京国際コイン・コンヴェンション貨幣セット



販売価格 1,850円(消費税込)

会場にて販売予定

独立行政法人 **造幣局**

<http://www.mint.go.jp/>

お問合せ先

お客様サービスセンター

〒530-0043 大阪市北区天満1-1-79

☎0570-01-2626(ナビダイヤル)

(平日9:00-17:00)

(ナビダイヤルを利用できない場合 06-6351-2626)



戦中のお札づくり

太平洋戦争当時、増大する戦費が財政赤字の要因となっていました。政府は、国債を増発し、あるいは貯蓄奨励を行い、集めた資金を戦費に充てようとしてきました。

国債の増発は、紙幣流通量を増加させるとともに、紙幣の製造量の増加ももたらしました。印刷局は、国債や紙幣などの製造に追われましたが、紙幣の偽造防止技術を簡易化することで製造効率を確保しました。

国立印刷局コーナーでは、太平洋戦争中に印刷局が製造した日本銀行券、軍票、債券など、当時の特殊な経済状況下で生まれた製品のいくつかをご紹介します。



日本銀行券 ろ10円 昭和20(1945)年



大東亜戦争割引国庫債券10円 昭和17(1942)年

ちょっと足を延ばして お札と切手の博物館

春の
イベント

もっと！凹版印刷体験（無料）

平成 28年 4月 26日(火)

– 5月 8日(日)

お札と切手の博物館で、凹版印刷で刷られたお札や切手の実物を観覧しながら、凹版印刷を体験してみませんか。

受付時間 10:00～12:30、13:30～16:00

*混雑時は早めに受付を終了する場合があります。



〒114-0002 東京都北区王子 1-6-1

TEL 03-5390-5194 (団体の場合は、あらかじめご連絡ください)

開館時間 9:30～17:00

休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)

アクセス JR京浜東北線 王子駅下車(中央口)徒歩5分

東京メトロ南北線 王子駅下車(1番出口)徒歩5分

都電荒川線 王子駅前下車 徒歩5分

*駐車場はありません

<http://www.npb.go.jp/ja/museum/>

[お札と切手の博物館](#) 検索

お札と切手の博物館

Banknote and Postage Stamp Museum

国立印刷局製造 “スーベニアカード” 好評頒布!

Official Souvenir Card for the 27th Tokyo International Coin Convention is available at Insatsu Choyokai Foundation.

今回、第27回記念カードを頒布していますが、過去に発行した記念カードも在庫がありますので、お求め下さい。

ただし、第1回及び第2回は発行しておりません。また、第3回、第8回及び第9回の記念カードは完売しました。



凹版印刷を体験しませんか!

あなただけの作品を
来場の記念品にしましょう。

この体験は、紙幣の印刷に使われる版面と同じような画線が彫刻された深凹版印刷用の金属の版面を使用して、その画線にインキをつめ、余分なインキをふき取り、会場の印刷機で実際に印刷を行っています。最後にインキを乾かせば、紙の表面に盛り上がった線画がご覧になれます。ぜひ、ご体験ください。

凹版体験風景



①北陸新幹線



②歌舞伎座



③為せば成る



今回は、開業一周年を迎えた「北陸新幹線」と、リニューアルして三周年を迎えた銀座4丁目の「歌舞伎座」です(再登場)。更に、新しい図柄は「為せば成る」と題し、米沢藩主、上杉鷹山の名言を配したニューバージョンの登場です。

①北陸新幹線 ②歌舞伎座 ③為せば成る

乞うご期待ください。

※平成19年度以降、テレホンカードの発行を中止させていただきました。なお図書カードについては従来どおり発行いたします。

一般財団法人 印刷朝陽会

Insatsu Choyokai Foundation

〒114-0016

東京都北区上中里2-30-2

Tel 03(3927)8796

Fax 03(3927)8798

<http://www.choyokai.or.jp/>

目次

大会委員長挨拶	3
会場案内	12
スケジュール	13
ブース案内図	14
参加社名	15
展示品・企画品	16
特別販売品	17
チャリティー	18
特別講演・セミナー	19
銀貨の歴史 ～激動の時代をささえた貨幣～ 鎮目 雅人	20
戦時体制下で紙幣製造に超多忙だった印刷局 植村 峻	30

コンヴェンション会場と交通機関

TICC

会場

ロイヤルパークホテル ROYAL PARK HOTEL

3F ロイヤルホール

Royal Hall 3rd Floor

〒103-8520 東京都中央区日本橋蛸殻町2-1-1 TEL 03-3667-1111



今回も昨年と同じく、東京の中心部日本橋・蛸殻町にあるロイヤルパークホテルにて開催されます。国際ホテルとして高いグレードを誇るロイヤルパークホテルの3階「ロイヤルホール」と「ホワイエ」にて造幣局・国立印刷局をはじめ、海外の造幣局の展示や、国内・海外の参加業者の展示即売会が繰りひろげられます。

歴史的にもこの蛸殻町は、徳川幕府が享和元年（1801年）銀貨鑄造所を銀座2丁目から蛸殻町に移転させ、明治2年に造幣局ができるまでの68年間、銀貨の鑄造を行ったゆかりの地でもあります。

- 東京駅より2km（車で10分）。
- 地下鉄半蔵門線、東武伊勢崎線「水天宮前駅」に直結。
- 地下鉄日比谷線、都営浅草線「人形町駅」より徒歩5分。
- 東京シティー・エアターミナルに隣接。
- 車で成田空港へ60分、羽田空港へ30分。

《実行委員スタッフ》

●大会委員長

佐孝 恵次 Keiji Sako

●実行委員長

石井 克之助 Katsunosuke Ishii

●実行委員（順不同）

林 和実 Kazumi Hayashi

矢澤 幸一郎 Kouichiro Yazawa

関口 寧 Yasushi Sekiguchi

高馬 大三 Daizo Koma

寺田 実 Minoru Terada

竹内 潤 Jun Takeuchi

The 27th TOKYO INTERNATIONAL COIN CONVENTION

コイン・コンヴェンションとイベントの日程

ロイヤルパークホテル3階(ロイヤルホール)

4月29日(金・祝)

9:50		開会式	Opening Ceremony	
10:10		コインの日記念式典		
10:30		一般開場	Exhibit Area opens to Public	
10:30~	クラウンルーム	ミントセット販売	Mint sets sale to Public	Crown room
13:00~18:00		チャリティーくじ		
14:00~15:30	クラウンルーム	講演(鎮目 雅人先生)	Lecture(Dr.Shizume)	Crown room
16:00~17:30	クラウンルーム	セミナー(日本貨幣協会)	Seminar	Crown room
18:00		閉場	Exhibit Area closes	

4月30日(土)

10:00		一般開場	Exhibit Area opens to Public	
10:00~	クラウンルーム	ミントセット販売	Mint sets sale to Public	Crown room
10:00~18:00	4F 珊瑚	泰星オークション	Taisei Auction	4F Ruri
10:00~17:00		チャリティーくじ		
10:00~18:00		こどもスタンプラリー		
14:00~15:30	クラウンルーム	講演(植村 峻氏)	Lecture(Mr.Uemura)	Crown room
16:00~17:30	クラウンルーム	セミナー(外国コイン研究会)	Seminar	Crown room
18:00		閉場	Exhibit Area closes	

5月1日(日)

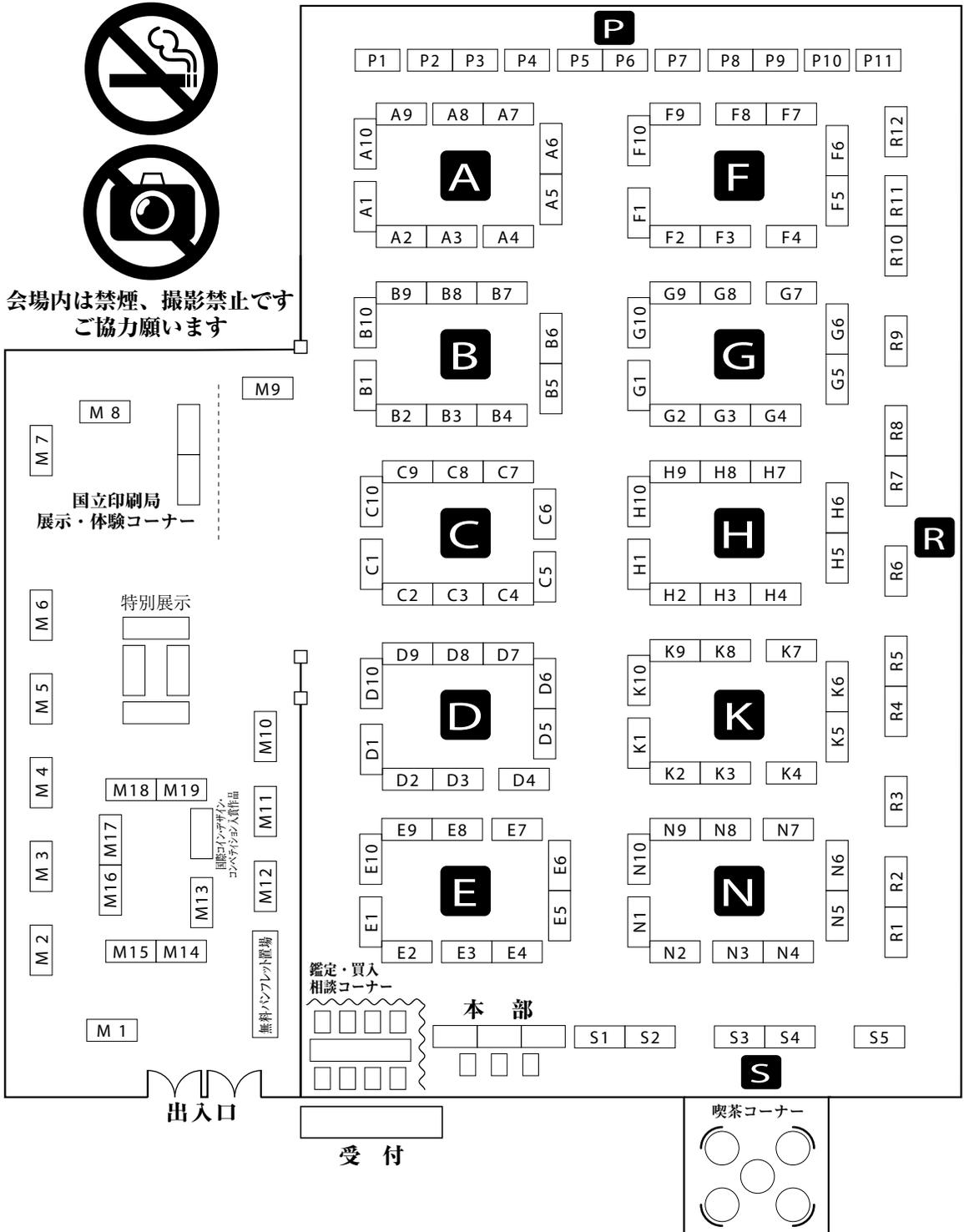
10:00		一般開場	Exhibit Area opens to Public	
10:00~	クラウンルーム	ミントセット販売	Mint sets sale to Public	Crown room
10:00~17:00		チャリティーくじ		
10:00~18:00		こどもスタンプラリー		
14:00~15:30	クラウンルーム	セミナー(日本近代銀貨研究会)	Seminar	Crown room
18:00		閉場	Exhibit Area closes	

第27回東京国際コイン・コンヴェンション

出展業者のブース案内図 / EXHIBIT AREA INFORMATION



会場内は禁煙、撮影禁止です
ご協力願います



第27回東京国際コイン・コンヴェンション 参加社名 TICC

◎造幣局関係

独立行政法人 造幣局	Japan Mint	M13 ~ 15
独立行政法人 国立印刷局	National Printing Bureau, Japan	M 7・8
英国王立造幣局	The Royal Mint	M 1
カナダ王室造幣局	Royal Canadian Mint	M 2
フランス国立造幣局	Monnaie de Paris	M 3
中国金幣総公司	China Gold Coin Inc	M 4
王立スペイン造幣局	Royal Spanish Mint	M 11
タイ王立造幣局	Royal Thai Mint	M 9
シンガポール造幣局	The Singapore Mint	M 5
オーストリア造幣局	Austrian Mint	M 10
イスラエル造幣局	ICMC - The Holy Land Mint	M 6
ポルトガル国立造幣局	Portuguese State Mint	M 12
一般財団法人 印刷朝陽会	Insatsu - Choyokai	M 16・17
日本赤十字社	Japanese Red Cross Society	M 18・19

◎海外参加社

アトラス・ヌミスマティクス (米国) Atlas Numismatics	F 5・6
ボルドウィン アンド サン (英国) A.H. Baldwin & Sons Ltd.	R 6
シー・ジー・ビー (フランス) cgb.fr	P 7
チャンピオン・オークション・マカオ (マカオ) Champion Auction Macau	S 5
コイン・インベスト・トラスト (リヒテンシュタイン) Coin Invest Trust	D 4
コインズ・アンド・アンシエント・アート (ドイツ) Coins and Ancient Art	P 10
エディションズ・ヴィ・ガードウリー (モナコ) Editions V. Gadoury	K 7
エクセルシオール・コイン・ギャラリー (米国) Excelsior Coin Gallery	G 7
キュンカー・オークション (ドイツ)	
Fritz Rudolf Kuenker GmbH & Co. KG	P 4
ヘッセ・ディボ (スイス) Hess Divo	P 4
ヘリテージ・オークションズ (米国) Heritage Auctions	R 3
ナイトブリッジコイン (セント・ジェームズ・オークション) (英国)	
Knightsbridge Coins (St. James's Auctions)	R 1
オーガスト・ドラゴニ (イタリア)	R 2
ニューセンチュリー・コインズアンドノート (香港)	
New Century Coins & Notes	F 4
エヌジーシー・エヌシーエス・ピーエムジー (米国) NGC-NCS-PMG	P 1
ポール・メンジーズ (英国) Paul Menzies	P 8・9
ピー・シー・ジー・エス (香港) PCGS	K 4
プンサン・ファドン (韓国) Poongsan Hwadong	E 7
シュールマン (オランダ) Schulman B.V.	A 4
ミントコンパニエ (スウェーデン) Myntkompaniet	A 4
シルバー・ハウス (台湾) Silver House	R 9
スピック・アンド・サン (香港) Spink and Son Ltd.	N 7
スタックスバウワーズ・アンド・ポンテリオ (香港)	
Stack's Bowers and Ponterio, Ltd.	C 6
スティープン・アルバム・レア・コインズ (米国)	
Stephen Album Rare Coins	R 12

◎国内参加社

アカデミー商会	Academy Shokai, Co.Ltd.	B 7~10
アベノスタンプコイン社	Abeno Stamp Coin Co.	F 1~3
アローインターナショナル	Arrow International Co. Ltd.	K 8~10
ヴァンガードコイン	Vanguard Coin	E 1・2
ウインダム	Windam	B 5・6
永楽堂	Eirakudou	A 5・6
駅前コイン	Ekimae Coin Co.	E 8~10
カードショップトレジャー	CardShop Treasure	F 9・10
銀座コイン	Ginza Coins Co.	H 7~10
銀座ステラ	Ginza Stella Co. Ltd.	N 1・2
紅林コイン	Kurebayashi Coin	R 4・5
ケネディ・スタンプ・クラブ	Kennedy Stamp Club Inc.	H 1~4
コレクションハウス	Collection House	N 3・4
城南堂古美術店	Jhonando Cobijyutsu Ten	F 7・8
新岐阜商会	Shingifu Shokai	D 1~3
新橋スタンプ商会	Shinbashi Stamp Co. Ltd.	B 1~4
杉本梁江堂	Sugimoto Ryokodo	G 8~10
セキグチ	Sekiguchi	G 1~4
世田谷スタンプコイン	Setagaya Stamp Coin	G 5・6
泰星コイン	Taisei Coins Corp.	D 5~10
大盛スタンプコーナー	Taisei Stamp	R 10・11
大日スタンプ・コイン	Dainichi Stamp Coin	N 5・6
多摩コインクラブ	Tama Coin Club	E 5・6
ダルマ	Daruma International Galleries	C 7~10
寺島コイン	Terashima Coin	P 2・3
日郵コイン	Nichiyu Coin	K 1~3
nissho coins.com	Nissho Coins.com	A 7・8
野崎コイン	Nozaki Coin	A 1~3
はるじ堂	Harujido	E 3・4
フクオ	Fukuo Ltd.	S 3・4
フクオスタンプ社	Fukuo Stamp Co.	S 1・2
松浦古銭堂	Orient Coin Center	H 5・6
ミントプラス	Mint Plus	K 5・6
モリシタ	Morishita	R 7・8
大和文庫	Yamato Bunko	A 9・10
ユキオスタンプ	Yukio Stamp Co. Ltd.	N 8~10
ロイヤルコイン	Royal Coins Co.	P 5・6
ワールドコインズ・ジャパン	World Coins Japan	C 1~5
書信館出版	Shoshinkan Publication Co. Ltd.	P 11
日本貨幣商協同組合	Japan Numismatic Dealers Association	本部

第27回東京国際コイン・コンヴェンション 特別展示品 TICC

「近代銀貨の歴史～激動の時代をささえた貨幣～」と銘打った特別展示です。

造幣局・造幣博物館所蔵の名品はもとより、全国の収集家のコレクションが一堂に集まります。国内最大の東京国際コイン・コンヴェンションならではの、豪華な展示となりました。

1. 加納夏雄の毛彫貨の展示

近代貨幣のデザインを担当した名工・加納夏雄。
彼のすばらしい仕事をご覧ください。
展示品は、造幣局 造幣博物館所蔵品です。

2. 旧 1 円銀貨等銀貨の展示

旧 1 円銀貨から竜 5 銭銀貨迄、手替り、状態の良い物を取り揃えてご覧頂きます。
展示品は、全国の収集家のコレクションです。

第27回東京国際コイン・コンヴェンション 企画品 TICC

独立行政法人 造幣局

第27回東京国際コイン・コンヴェンション 貨幣セット

今年で
21年目の
発行!



¥1,850
(税込)

詳しくは P9 をご覧下さい。

国立印刷局

TICC第27回記念 スーベニアカード

今年で
25年目の
発行



詳しくは
P11 をご覧下さい。

¥1,250 (税込)

フランス国立造幣局

TICC記念 ユーロ・ミントセット

今年で
11回目の
発行



詳しくは裏表紙を
ご覧下さい。



¥5,400 (税込)

※各企画には、同時にお並びいただく事はできません。また、会場のセキュリティ上、深夜、早朝からのご来場はご遠慮ください。

第27回東京国際コイン・コンヴェンション 特別販売品 TICC

貿易銀

美品 日本貨幣商協同組合鑑定書付

幕末の金流出を教訓に、貨幣制度の洋式化に着手した明治政府が、国際決済用通貨として発行した貿易銀。当時流通量が多かったメキシコの銀貨に対抗するため、銀の比率を900まで上げて製造されています。

美品以上のものに日本貨幣商協同組合推奨プレートをお付けしております。



※写真はイメージです。

180,000円(税込)

旧1円銀貨

美品 日本貨幣商協同組合鑑定書付

明治政府により最初に貿易用に製造されたのがこの銀貨です。迫力のある大きさと図案が人気の一品です。

美品以上のものに日本貨幣商協同組合推奨プレートをお付けしております。



※写真はイメージです。

40,000円(税込)

竜50銭、20銭、10銭、5銭 4点セット

美品

加納夏雄がデザインした天皇を象徴とする竜の図案。竜50銭、20銭、10銭、5銭 4枚組み合わせて、お手頃な価格で提供致します。(年号は選べません)



※写真はイメージです。

5,000円(税込)

高橋50円札

未使用

1951年に発行されましたが1955年には50円硬貨が発行された為、発行期間は僅か7年間。流通枚数が少ない未使用品をご提供致します。



※写真はイメージです。

5,000円(税込)

チャリティーくじ

TICC

今年もチャリティーくじを行います。各国造幣局、出店ディーラーよりたくさんの賞品を提供していただきました。東京国際コイン・コンヴェンションは少しでも日本赤十字社が行う赤十字活動のお役に立てるよう、チャリティーくじの売上は全額、日本赤十字社へ寄付させていただきます。ご来場の皆様には是非ともご協力をお願い申し上げます。

コンヴェンション本部にて
チャリティーくじを開催中です!

【開催時間】 4月29日(金・祝) 13:00~18:00
4月30日(土) 10:00~17:00
5月1日(日) 10:00~17:00



※賞品がなくなり次第終了となります。

東京国際コイン・コンヴェンション こどもスタンプラリー TICC

各国造幣局を廻って、スタンプを集めると、
素敵な賞品をプレゼント!

4月30日(土)、5月1日(日)の2日間で
開催いたします。※中学生以下のお子様に限ります。



入場者全員の中から抽選で豪華賞品が当たります TICC

期間中、入場者全員の中から抽選で豪華賞品をプレゼント!
応募用紙は、会場受付またはダイレクトメールに同封されている住所確認表です。

●TICC金賞 旧1円銀貨
1名様 日本貨幣商協同組合
鑑定書付

●TICC銀賞 地方自治法施行60周年記念カラー千円銀貨
4名様 (和歌山県、大阪府、長崎県、千葉県) 各1点



※抽選結果は後日、発送をもってかえさせていただきます。また「収集」六月号にて発表致します。

日本近代紙幣チェックリスト TICC

ご来場の皆様に
無料進呈いたします。

日本近代紙幣チェックリストに付録として戦後現行紙幣
珍番号をのせて再出版致しました。
どうぞ収集にお役立て下さい。

※写真は参考です、実際のデザインとは異なる場合がございます。



4月29日(金・祝)
14:00~15:30

「銀貨の歴史 ~激動の時代をささえた貨幣~」

【講師】早稲田大学教授
鎮目 雅人 (しずめ まさと)

【略歴】

早稲田大学政治経済学術院教授。1963年生まれ。1985年度慶義塾大学経済学部卒業、日本銀行金融研究所勤務、神戸大学経済経営研究所教授などを経て、2014年より現職。

【主要著作】

「世界恐慌と経済政策:「開放小国」日本の経験と現代」(日本経済新聞出版社、2009年)、“Why did Countries Adopt the Gold Standard? Lessons from Japan” (共著、Journal of Economic History, 70-1, 2010年)ほか。



4月30日(土)
14:00~15:30

「戦時体制下で紙幣製造に超多忙だった印刷局」

【講師】紙幣研究者
一般財団法人印刷朝陽会 事務局長兼調査研究部長
植村 峻 (うえむら たかし)

【略歴】

昭和10年生まれ、昭和33年都立大学卒業、大蔵省印刷局勤務、平成元年大蔵省印刷局滝野川工場長、平成3年印刷局業務部長、平成6年退職、平成10年(財)印刷朝陽会専務理事、平成19年(財)印刷朝陽会事務局長・調査研究部長

【主要著書】

「世界の銀行券」「紙幣肖像の歴史」「世界紙幣図鑑」「贋札の世界史」「お札のはなし」「日本紙幣肖像の凹版彫刻者たち」「切手印刷のはなし」「紙幣肖像の近現代史」



収集家団体の有志によるセミナー

4月29日(金・祝)
16:00~17:30

「包 銀」

日本貨幣協会

【内容】丁銀・小玉銀の流通形態。大黒常是と銀座の関係、及び金座と銀座の関係についての誤解。 講師:小槌 義雄(日本貨幣協会)

4月30日(土)
16:00~17:30

「英国コイン収集の着眼点について」

外国コイン研究会

【内容】英国コインの収集家3名により、ギニー金貨、ヴィクトリア女王のコイン、銀貨の国王別収集等様々な着眼点についてご紹介します。

5月1日(日)
14:00~15:30

「よろず相談会25」

日本近代銀貨研究会

【内容】円銀刻印の種類と分類2(刻印変化の流れ、刻印分類資料配付予定)

日本貨幣商協同組合主催催事スケジュール

●名古屋

「第21回なごや大収集まつり」

会 期:5月20日(金)~22日(日)

場 所:ナディアパーク デザインホール(デザインセンタービル3F)

●大 阪

「第14回大阪コインショー」

会 期:6月17日(金)~19日(日)

場 所:OMMビル2階Aホール

●大 阪

「第41回おおさか大収集まつり」

会 期:10月7日(金)~10日(月)

場 所:心齋橋御堂筋ビル9F

●東 京

「第14回東京コインショー」

会 期:11月11日(金)~13日(日)

場 所:大手町サンケイプラザ3F

○催事案内ご希望の方は、組合までお葉書でお申込み下さい。東京都港区新橋2-16-1ニュー新橋ビル409
TEL.03-3508-1701 FAX.03-3593-1029

銀貨の歴史

～激動の時代をささえた貨幣～

(早稲田大学教授) 鎮目 雅人 (しずめ まさと)

はじめに

歴史的にみると、銀は多くの地域で貨幣の材料として使われてきたほか、主要な国際商品として取引され世界の遠隔地交易を支えてきた。世界的な金属本位制度としては19世紀後半から20世紀初頭にかけて成立していた国際金本位制が有名であるが、金が国際的な交易の決済通貨として広く使われるようになったのは19世紀後半のことである。それ以前、とくにヨーロッパ諸国がアフリカ、アジア、南北アメリカに進出したいわゆる「大航海時代」(15世紀～17世紀)において、世界の交易を支えた貴金属は金ではなく銀であった¹。本稿では、大航海時代以降の世界的な交易の広がりの中で銀が果たした役割を概観する。

1. 大航海時代の交易

大航海時代は、ポルトガルとスペインが先導し、その後、オランダに続いてイギリスが主導権を握ることとなる²。この時期にヨーロッパ各国が世界の海に乗り出していった大きな動機は、マルコ・ポーロの『東方見聞録』以来、進んだ生産技術と巨大な商品市場を持つ豊かな国として当時ヨーロッパの人々を魅了していた中国との交易であった³。

図表1 世界の人口とGDP

	アジア		ヨーロッパ				南北アフリカ		世界	世界位に占める中国のウエイト(%)		
	うち中国	日本	うちポルトガル	スペイン	オランダ	イギリス	うち米国					
人口(千人)												
1500年	283,800	103,000	15,400	70,768	1,000	6,800	950	3,942	19,750	2,000	438,428	23.5
1600	378,500	160,000	18,500	90,728	1,100	8,240	1,500	6,170	10,350	1,500	556,148	28.8
1700	401,800	138,000	27,000	100,260	2,000	8,770	1,900	8,565	13,250	1,000	603,490	22.9
1820	710,400	381,000	31,000	169,485	3,297	12,203	2,333	21,239	32,388	9,981	1,041,708	36.6
GDP(百万ドル)												
1500年	161,317	61,800	7,700	50,855	606	4,495	723	2,815	8,188	800	248,321	24.9
1600	217,089	96,000	9,620	74,797	814	7,072	2,072	6,007	4,463	600	331,344	29.0
1700	229,671	82,800	15,390	92,320	1,638	7,481	4,047	10,709	6,959	527	371,058	22.3
1820	412,477	228,600	20,739	183,766	3,043	12,299	4,288	36,232	28,207	12,548	693,502	33.0
1人あたりGDP(ドル)												
1500年	568	600	500	719	606	661	761	714	415	400	566	
1600	574	600	520	824	740	853	1,381	974	431	400	596	
1700	572	600	570	921	819	853	2,130	1,250	525	527	615	
1820	581	600	669	1,084	923	1,008	1,838	1,706	871	1,257	666	

出所: Angus Maddison, *Historical Statistics of the World Economy*.

1 論者によっては、この時代を19世紀後半から20世紀初頭のグローバル化に先駆けた「第1次グローバル化」の時代と呼ぶ(例えば、デニス・フリン(秋田茂・西村雄志編)『グローバル化と銀』山川出版社、2010年)。一方で、こうした見方に対しては異論もある(例えば、Kevin O'Rourke and Jeffery G. Williamson, "When Did Globalization Begin?" *European Review of Economic History*, 6, 2002, pp.23-50; O'Rourke and Williamson, "After Columbus: Explaining Europe's Overseas Trade Boom, 1550-1800," *Journal of Economic History*, 62-2, 2002, pp.417-455)。この論争に関する簡潔なまとめは、西村閑也「第一次グローバル化とアジアにおける英系国際銀行」西村閑也・鈴木俊夫・赤川元章編著『国際銀行とアジア: 1870～1913』慶應義塾大学出版会、5-6頁注3。

2 大航海時代のはじまりは、ポルトガルがイベリア半島対岸の北アフリカ・セウタ(現在はスペイン領)をイスラム教徒から奪った1415年とされているが、ヨーロッパ人の他地域への渡航が本格化したのは喜望峰発見や大西洋横断が成った15世紀末以降のことである。増田義郎『ビジュアル版世界の歴史13大航海時代』講談社、1984年、6頁。

図表1は、1500年から1820年にかけての世界の人口とGDPの推計値である⁴。極めてラフな推計であることに留意したうえで、大航海時代の世界の大まかな姿をみてみよう。

まず、1人当たりGDPを経済的な豊かさを示す一つの指標として捉えたとすれば、1500年時点では、アジアとヨーロッパの間で大きな差はなかった。

中国は、16世紀から19世紀に至るまで一貫して、人口でもGDPでも世界全体の3分の1から4分の1程度を占める大国であった。明代（1368-1644年）の中国では、揚子江中下流域を中心に農業と商工業が発達した。政府は、冊封関係にある諸外国の朝貢に付随する貿易のみを認め、それ以外の私貿易を禁止する海禁政策を実施した⁵。ただし、先進的な生産技術によってつくられた絹織物や陶磁器などの中国製品は、香料などの東南アジア産品とともにヨーロッパ諸国をはじめとする諸国の人々を魅了し続けた。中国商人と外国商人の双方にとって私貿易の利益は大きかったため、これを完全に規制することは難しく密貿易が盛んであり、1567年には海禁政策が解除されて中国商人の海外進出と私貿易が公認された⁶。

インド亜大陸では、イスラム教徒が支配するムガル帝国（1526-1858年）が栄えていた。帝国の領土が最大となるのは第6代アウランズィーブ帝の治世（1658-1707年）であり、その版図は、現在のアフガニスタンからインド主要部、バングラディシュ、パキスタンのほぼ全域に及んでいた⁷。東部のベンガル地方では米やサトウキビ、北部では小麦・大麦、デカン高原では綿、西岸のグジャラート地方や中部のアーグラ近郊では藍が生産され、織物業、精糖業、宝飾品加工業も各地で盛んに行われていた⁸。海陸の交易で活躍したイスラム商人のほか、沿岸部ではポルトガルに続いてイギリスが拠点を置いて交易を行った⁹。

西アジアから東ヨーロッパ、北アフリカにかけては、1453年に東ローマ帝国を滅ぼしたイスラム教徒のオスマン・トルコ帝国（1299-1922年）がイスタンブールを首都としてヨーロッパ諸国と対峙していた¹⁰。ヨーロッパ諸国は、オスマン・トルコの勢力範囲を避けてアジアへと向かう通商路を求めて大航海時代へと入っていった。

大航海時代の先陣を切ったポルトガルは、15世紀を通じて徐々にアフリカ西岸を南下し、インド洋に達した。1488年にバルトロメウ・ディアスが喜望峰に到達、1498年には喜望峰経由でヴァスコ・ダ・ガマがインドに到着した。16世紀に入ると、ポルトガルはインドのゴア、マレー半島のマラッカ（現在のマレーシア）を根拠地としてさらに東方を目指し、1557年には倭寇撃退の功により明から許されてマカオに要塞を築いて拠点とし、インド、東南アジアならびに中国との交易を行った¹¹。

3 大黒俊二「『東方見聞録』とその読者たち」『岩波講座世界歴史12 遭遇と発見：異文化への視野』岩波書店、1999年、63-87頁、および、ティモシー・ブルック（本野英一訳）『フェルメールの帽子』岩波書店、2014年、60-71頁。

4 原資料は、Angus Maddison, *Historical Statistics of the World Economy*: <http://www.ggdc.net/maddison/maddison-project/home.htm> (2016年2月18日アクセス)

5 宮崎市定『中国史(下)』岩波文庫、2015年、170-189頁。

6 「明」『国史大辞典』、岸本美緒『東アジアの「近世」』山川出版社世界史リブレット13、1998年、7-18頁。なお、私貿易の担い手として日本人の海賊を意味する倭寇が有名であるが、倭定の多くは実際には東シナ海周辺諸地域の民族が入り混じる密貿易集団であった。

7 アンドレ・クロー(岩永博監訳・杉村裕史訳)『イスラーム文化叢書3 ムガル帝国の興亡』法政大学出版局、2001年、229-262頁。ただし、アウランズィーブは宗教的に非寛容であり、ヒन्दゥー教徒の反乱を招いた。

8 クロー前掲書263-278頁。

9 クロー前掲書278-289頁。

10 ウルリッヒ・クレーフアー(戸叶勝也訳)『オスマン・トルコ帝国—世界帝国建設への野望—』佑学社、23-107頁、増田前掲書26-33頁。

11 金七紀男『ポルトガル史』彩流社、1996年、宮崎市定前掲書213-218頁、および、岸本前掲書13頁。

スペインは、ポルトガルにやや遅れて本格的に世界進出した。スペイン王の援助を受けたジェノヴァ（現在のイタリア）出身のコロンブスは、1492年に大西洋を横断して現在の西インド諸島に到達した。ポルトガル人フェルナオ・デ・マガリャンイス（マゼラン）の一行は、スペイン王の命により1519年に西廻り航海に出発し、途中マガリャンイスはフィリピンで殺されたものの1522年に彼の部下が世界一周を達成して帰国した。同じ頃、スペインはメキシコ、ペルーのマヤ・アステカ文明やインカ帝国を滅ぼして植民地とし、過酷な手段で住民を支配していった。16世紀中頃にメキシコと南米で相次いで良質の銀鉱が発見され、その中でも最大規模を誇ったのが南米アンデス山中（現在のボリビア）にあったポトシ銀山であった¹²。スペインは1571年にマニラに拠点を設け、メキシコ西岸のアカプルコとの間に太平洋航路を開いて中国系商人との交易を始めた¹³。ポルトガルとスペインは住民に旧教徒（カトリック）が多く、ローマ・カトリック教会との関係が深かった。

オランダ（ネーデルラント）は中部ヨーロッパと大西洋の接点であるライン川の河口に位置し、16世紀には遠隔地商業と毛織物工業が栄えた。図表1をみると、1600年時点の1人当たりGDPはスペイン、ポルトガル、イギリスを凌駕している。カルヴァン派の新教徒（プロテスタント）が多かったが、当時、スペイン王家が神聖ローマ帝国皇帝ハプスブルク家と婚姻により一体化しており、オランダはスペインの属領となっていた。カトリックを信仰するスペイン国王フェリペ2世（在位1556-1598年）がオランダの新教徒を圧迫し自治権を奪おうとしたことから独立運動が起き、オランダは1581年に独立を宣言してスペインと戦争状態となった。1609年の休戦条約で事実上独立を達成し、1648年のウエストファリア条約で各国から正式に独立が認められた。この間、オランダは16世紀末から積極的にアジア貿易に進出し、1602年に東インド会社を設立、香料の産地ジャワのバタヴィア（ジャカルタ）を根拠地としてオランダ領東インドを形成し、周辺のポルトガルの植民地を奪ったほか、アフリカやアメリカ大陸にも進出した。アムステルダムをはじめとする17世紀前半のオランダは、ヨーロッパの金融・商業の中心地となった¹⁴。

イギリスは、エリザベス1世（在位1558-1603年）の時代に海外進出を本格化させた。当初はオランダ独立運動を支援し、1588年にはイギリス上陸を図ったスペイン無敵艦隊を破って制海権を拡大し、1600年に東インド会社を設立してインドの植民地化を進めるとともに、北アメリカ東岸に入植地を設けて主に自営農民による開拓を進めた。清教徒革命中の1651年にはオランダ商船のイギリスならびにその植民地への寄港を禁止する航海条例を制定し、1652年から1674年にかけて3回にわたりオランダと戦い、これに勝利して制海権を確立した後は、オランダに代わりヨーロッパの金融・商業の中心地となっていった¹⁵。

この間フランスは、17世紀以降、インドや東南アジア、北アメリカの五大湖周辺やミシシッピ川流域に進出して18世紀を通じてイギリスに対抗した。ティモシー・ブルックの『フェルメールの帽子』には、中国への近道を探してニュー・フランス（現在のカナダ、ケベック州）のセント・ローレンス川を遡った探検隊の話が綴られている¹⁵。

最後に、この時期の日本について述べておく。15世紀後半から16世紀の日本は戦国時代であり、各地の戦国大名は軍資金を得るために競って鉱山開発を進めた。これに先立つ室町幕府3代将軍・足利義満の時代（在職1368-1394年）に明の冊封体制に入ったが、1541年を最後に朝貢は行っていなかった¹⁶。ただし、その後も明船が九州に来航したほか、琉球、台湾を通じた明との交易も行われ、また、フィリピンのマニラ、

12 関哲行・立石博高「大航海時代のスペイン」関・立石編訳『大航海時代：スペインと新大陸』同文館、1998年、3-49頁、宮崎和夫「スペイン帝国隆盛の時代」関哲行・立石博高・中塚次郎編『世界歴史体系スペイン史1古代・中世』山川出版社、2008年、および、Kendall W. Brown, *A History of Mining in Latin America: From the Colonial Era to the Present*, University of New Mexico Press, 2012, pp.8-11.

13 増田前掲書 144頁、および、ブルック前掲書 214-215頁。

14 ブルック前掲書では、世界の物産が人々の生活に浸透しつつあった当時のオランダ社会の様子が詳しく描写されている。

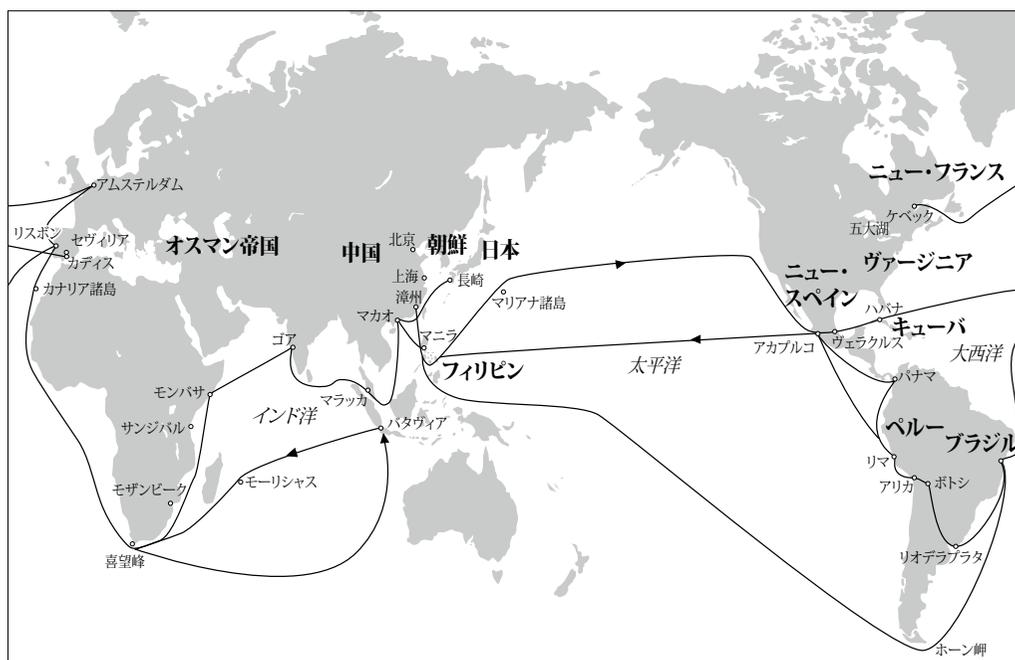
15 ブルック前掲書 41-71頁。

16 増田前掲書 247-250頁。

ベトナムのツーラン（ダナン）、フェフォ（ホイアン）、タイのアユタヤなどには日本人町が形成されるなど、東南アジアとの交易は盛んであった。さらに、1542年のポルトガル船の種子島漂着（鉄砲伝来）に続き、ポルトガルがマカオ（1557年）に、スペインがマニラ（1571年）に拠点を開く中で、両国船による日本銀の輸出が増加した。日本からは、銀のほか刀剣類、海産物、漆器などが輸出され、絹織物や薬種のほか、戦国期には鉄砲、火薬、皮革、鉄などの軍需品が輸入されていた¹⁷。

織豊政権はヨーロッパ人の来航に触発されて海外進出を図り、豊臣秀吉による朝鮮出兵（1592-1593年、1597-1598年）を引き起こしたが失敗に終わり、後継の徳川幕府は内政重視への政策転換を図るとともに、李氏朝鮮との関係修復に努めた¹⁸。17世紀に入ると、オランダ、イギリスが日本との交易に参入した。幕府は、キリスト教に対する警戒を強める中で、1624年にスペイン船、1639年にポルトガル船の来航を禁止し、この間にイギリスが日本との貿易から撤退したため、ヨーロッパ諸国の中でオランダのみと幕府の管理下で正式に交易を継続することとなった。この体制は後に「鎖国」と称されたが、貿易が禁止されたわけではなく、その後も銀をはじめとする金属類は日本の主要輸出品であり、流出が続いた¹⁹。

図表2 17世紀における地球規模の交易ルート



出所：ブルック(2014)120-121頁

図表2は、ヨーロッパ船を中心とする17世紀における地球規模の交易ルートを示した地図である²⁰。大西洋、インド洋、太平洋を經由して、ヨーロッパ、南北アメリカ、アフリカ、アジアがひとつのネットワークとして結ばれていたことが分かる。

17 杉山伸也『日本経済史 近世—現代』岩波書店、2012年、15頁。

18 杉山前掲書 17-19頁。

19 朝尾直弘「東アジアにおける幕藩体制」朝尾編『日本の近世1 世界史のなかの近世』中央公論社、1991年、53-130頁、真栄平房昭「『鎖国』日本の海外貿易」朝尾編『日本の近世1 世界史のなかの近世』中央公論社、1991年、131-170頁、および、鈴木康子『近世日蘭貿易史の研究』思文閣出版、2004年。

20 ブルック前掲書 120-121頁。

2. 大航海時代の到来前における銀

銀は古来、貨幣材料として使用されてきた。

紀元前7世紀、現在のトルコ西部にあったリディア王国が金銀の合成物（エレクトロン）を成分とし刻印により一定の価値を示す貨幣をつくり、リディア最後の国王クロイソス（在位紀元前561-547年）が西洋初の金貨および銀貨の鑄造を行った²¹。紀元前547年にリディアを滅ぼし、6世紀末に現在のインドからギリシア、エジプトまでの広大な領土を支配したアケメネス朝ペルシアでは、最盛期であるダリウス1世の治世（紀元前522-486年）に金貨とともに銀貨を鑄造した²²。

古代ギリシアでは、アテネ近くのラウリオンに銀山があり、貨幣として主に銀貨が使用された。大英博物館のホームページで“silver coin”をキーワードとして検索すると、所蔵品の中で初期の銀貨として紀元前700-550年と推定される円形の銀貨49点が表示される²³。これらはいずれもアテネ近くのアイギナ島出土のものである。その後、ギリシア・ローマ時代を通じて、銀貨は主要な貨幣としてヨーロッパ全域に広がっていき、中世ヨーロッパでも銀貨が使用された。また、インドでは、アレクサンダー大王の勢力を駆逐して成立したマウリヤ朝（紀元前317年頃-紀元前180年頃）の時代に銀貨が鑄造された。上記の大英博物館ホームページで検索すると、最も古いもので紀元前250年頃鑄造のインドの銀貨が収蔵されていることが分かる。中世のイスラム世界では、ローマのデナリウスに由来するディナール金貨と、ギリシアのドラクマに由来するディルヘルム銀貨という、ギリシア・ローマ時代の流れを汲む金銀貨が使われていた²⁴。

中国では、漢（紀元前206年-紀元後<以下同じ>220年）の時代から銀が貨幣として使用され、南宋（1127-1279年）、金（1115-1234年）、元（1206-1368年）の時代および明初には政府紙幣が発行されたが、主に使用されていた貨幣は銀ではなく銅銭であった²⁵。もっとも、元末・明初に財政赤字を補てんするために紙幣が過剰に発行され紙幣制度が混乱した後、海外から流入していた銀が秤量貨幣として銅銭とともに使われるようになっていった（後述）。日本や朝鮮半島、ベトナムなど東アジアの他の地域では、時代や地域によってさまざまな貨幣が使われることがあったが、15世紀以前の東アジアで共通して使われていた貨幣は銅銭であった²⁶。

3. 銀の増産：石見銀山とポトシ銀山

銀が国際的な商品として世界で広く取引されるようになったのは、16世紀であった。日本と新大陸アメリカで新たな銀の製錬法の普及とあわせて大規模な銀山の開発が進み、大量の銀が生産されるようになり、これが世界（とくに中国）に向けて輸出された。

日本では、16世紀前半に銀の生産が本格化した。1526（大永6）年に博多の貿易商人・神谷寿禎が石見国（現在の島根県）で銀鉱を発見して採掘を開始し、1533（天文2）年に朝鮮半島から2人の技術者を招いて灰吹法による銀の製錬を開始した。灰吹法はもともと中国で行われていた精錬法で、鉱石中に含まれる銀に鉛を加えていったん銀と鉛の合金（貴鉛）をつくり、その後鉛を灰に染み込ませることで銀だけを抽出

21 ヘロドトス『歴史』第1巻、中央公論社、1970年、94（松平千秋訳、岩波文庫版1971では上巻78-79頁）。

22 久光重平『西洋貨幣史（上）』国書刊行会、1995年、3頁、25-26頁。

23 The British Museum Collection online : http://www.britishmuseum.org/research/collection_online/search.aspx（2016年2月13日アクセス）

24 クレーファー前掲書118頁、および増田前掲書31頁。

25 宮崎市定前掲書19-20頁、Richard von Glahn, *Fountain of Fortune: Money and Monetary Policy in China, 1000-1700*, Berkeley : University of California Press, 1995, pp.48-70、および、岸本前掲書7頁。

26 岸本前掲書7頁。なお、黒田（1999 : 277-279頁）は、これに先立って13世紀のモンゴル支配下で地域間決済通貨としての銀の流通がユーラシア大陸の東西の遠隔地交易を支えたと論じている。黒田明伸『貨幣が語る諸システムの興亡』『岩波講座世界歴史15 商人と市場：ネットワークの中の国家』岩波書店、1999年、263-285頁。

する方法である²⁷。灰吹法の導入により石見銀山の銀の産出量は飛躍的に増大したほか、各地の戦国大名が競って開発した鉱山にもその技術が伝えられた。産出された銀から、なまこ状の灰吹銀が鑄造された。

アメリカ大陸での銀の生産が本格化したのは16世紀半ばである。コロンブスの大西洋横断（1492年）から50年余りを経た1545年、スペイン支配下の南米アンデス山中のポトシでスペイン人は先住民から良質な銀鉱の存在を知らされた。大量の先住民が強制労働に従事させられ、鉱山の開発が進められた。鉱石中に含まれる銀を水銀と結合させて抽出し、後に水銀を蒸発させて純度の高い銀を取り出すアマルガム法と呼ばれる精錬法が導入され、銀の大量生産が可能となった。ポトシからの銀の産出量は16世紀末にピークを迎えた後、17世紀を通じて減少していく²⁸。一方、メキシコでの銀の生産は新しい鉱山の開発等により長期的に拡大傾向を辿り、17世紀後半には南米での産出量を上回るようになり、18世紀末にはその3倍に達した²⁹。メキシコ市（1536年）、リマ（1565年）、ポトシ（1575年）には造幣局が置かれ、スペインの貨幣単位であるレアル銀貨が製造された。このうち8レアル銀貨は大量につくられ、ヨーロッパ、アジアに流入してスペイン・ドルないしメキシコ・ドルと呼ばれた³⁰。



スペインドル -8レアル銀貨 -1774年銘
造幣局：ポトシ - カルロス3世 (1759-1788)

4. 世界の交易を支えた銀

日本とアメリカ大陸での生産量が激増した16世紀以降、銀は国際商品として世界中を巡って各地で取引され、遠隔地交易の主役となる。その背景にはいくつかの要因が重なり合っていたが、中国の物産を世界の他の地域（とくにヨーロッパと日本）が需要する一方、中国国内の銀に対する需要を新たに開発された日本とアメリカ大陸の銀の供給が充足し、これを大航海時代のヨーロッパをはじめとする遠隔地交易に従事する各地の商人が仲介する、というのが大まかな構図であった。

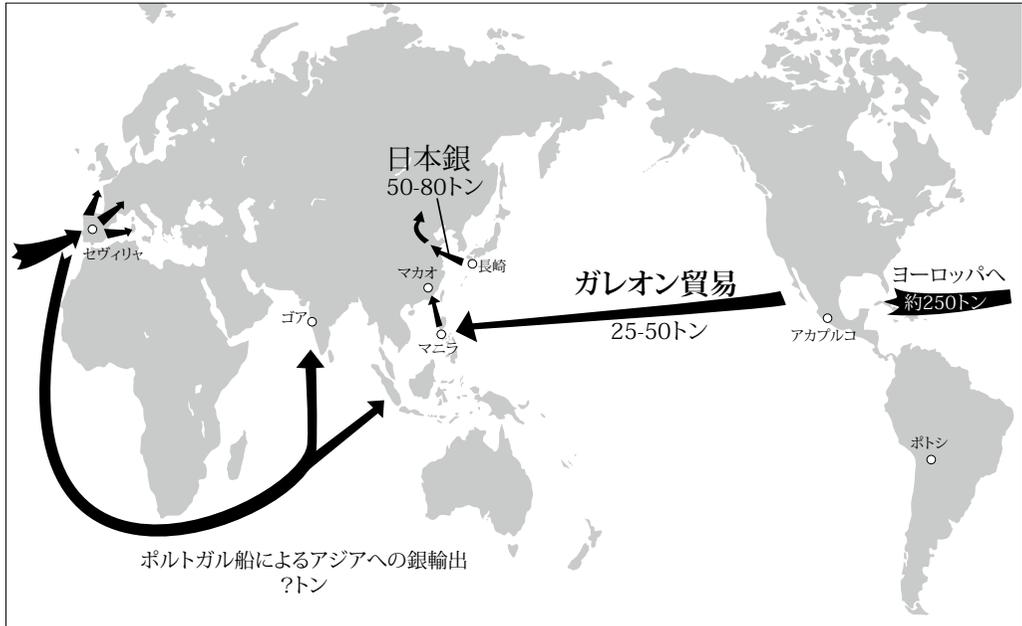
27 遠藤浩巳『シリーズ歴史を学ぶ：銀鉱山王国・石見銀山』新泉社、2013年、23頁、81-87頁、および、世界遺跡石見銀山遺跡とその文化的景観ホームページ：<http://ginzan.city.ohda.lg.jp/wh/jp/technology/haifuki.html> (2016年2月14日アクセス)。

28 久光前掲書 837-838頁、Brown前掲書 15-28頁、46-70頁、および、ブルック前掲書 207頁。

29 Brown前掲書 29-35頁。

30 久光前掲書 843-844頁。1レアルは、純銀26.4487グラムに相当する1ペソの8分の1の価値。また、ドルの語源は谷を表すドイツ語のターレルから来ており、ボヘミアの銀山の名称からとったヨアヒムスターレルという銀貨と8レアル銀貨の銀含有量が等しいことから8レアル銀貨をスペイン・ドルと呼ぶようになった。岸本前掲書 27頁。

図表3 1600年前後における銀の移動



出所：岸本(1998)15頁をもとに作成

図表3は、1600年前後の世界における主な銀の移動経路を示した地図である³¹。中南米を起点とし、大西洋からインド洋を経由して、あるいは直接太平洋を越えてアジアに運ばれる流れと、日本から中国に運ばれる流れが描かれている。実際には、このほか中東からシルクロードを経る流れや、バルト海からロシアを経由する流れなど、さまざまなルートが存在したと考えられるが、いずれにしても主な最終目的地は中国であった³²。なお、この時代の銀は、各国内では貨幣素材として使われていたが、それぞれの国において現地の貨幣に鋳直されていたことからみて、遠隔地交易に使われる際に現代的な意味での国際決済通貨として使われていたとは必ずしも言えない。現代における石油や穀物類のような一種の国際商品として取引されていたとみる方が実態に近いと思われる。

明はモンゴルの元王朝を北方に追いやって建国したが、建国後も北方のモンゴルとの戦争状態が続いた。第3代永楽帝の時代(治世1402-1425年)にはモンゴル征伐やベトナム併合、南京から北京への遷都や鄭和のインド洋遠征などの積極策の傍らで紙幣制度が混乱した。15世紀半ば以降、明は対モンゴルとの関係において守勢一方となり、万里の長城を整備して大量の軍隊を北方の辺境に配置した。明朝政府は初期においては穀物や塩などの税を現物で徴収していたが、1430年代になって税の銀納を認め、徴収した銀を北方に運んで軍隊駐留のために必要な物資を買い付けるようになった。税の銀納が認められるようになると、民間の取引でも銅銭と秤量貨幣としての銀が並行して使用されるようになったが、このうち銭貨は地域内部で主として小額取引に使われる貨幣、銀は地域間の高額取引に使われる貨幣としての役割を果たすようになっていった³³。中国国内においては、浙江・福建地方を中心に銀が産出され、秤量貨幣として使われたが、増大する銀の需要を賄うには国内産の銀だけでは不足していた³⁴。

31 岸本前掲書15頁。

32 von Glahn 前掲書113-141頁、および、フリン前掲書122頁。

33 宮崎市定前掲書19-20頁、von Glahn 前掲書48-88頁、および、岸本前掲書7頁。

34 岸本前掲書9-10頁、および、フリン前掲書121-122頁。

16世紀から17世紀初めにかけての中国では、旺盛な銀に対する需要を反映して世界の他の地域に比べて銀の価値が高く、銀を中国に持ち込んでさまざまな品物と交換することで、高利益が得られた。例えば、16世紀初め頃、金銀の交換比率（金銀比価）はヨーロッパでは1対12、ペルシアでは1対10、インドでは1対8であったのに対し、中国では1対6であった³⁵。このような状況下、世界各地から中国に向けて銀が流入した。中国に流入する銀の原産地としてとくに重要な地位を占めたのが、アメリカ大陸と日本であった。

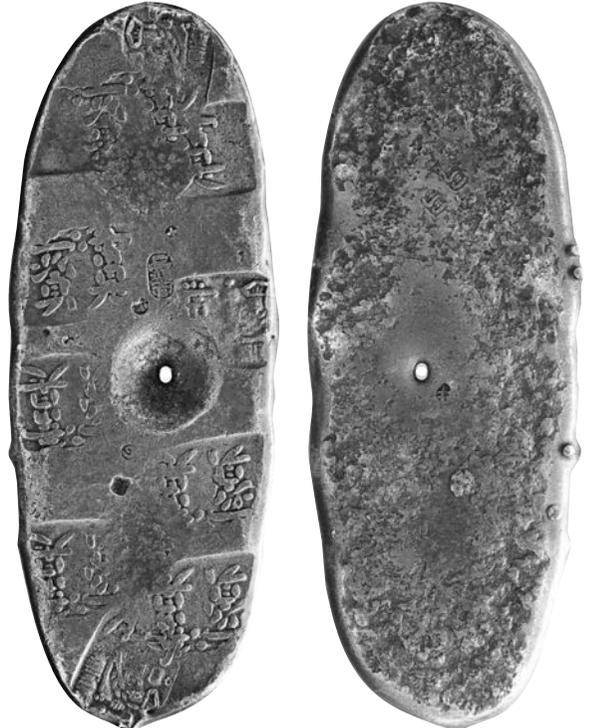
インドについても、中国と同様に物産を輸出し、その対価として銀をはじめとする貴金属や宝石が流入していた。なお、インドの場合、流入した貴金属や宝石は諸侯や貴族の財産として蓄積された³⁶。

16世紀後半から17世紀前半にかけて日本から船積みされた銀は、ソーマ銀、スコイト（schuit）銀と呼ばれた。このうちソーマ銀は純度の高い灰吹銀、スコイト銀はそれよりやや純度の低い丁銀とみられる³⁷。石見銀山における銀の産出量は1600年前後がピークであり、その後は徐々に減少していった。1630年代に徳川幕府は、国内において三貨制度と呼ばれる日本独自の貨幣制度を完成させる一方、対外的には「鎖国」と呼ばれる厳格な管理貿易を敷き、金銀銅の輸出統制を強化した。それでも、中国からの生糸や絹織物、薬種等の輸入の対価として、日本からの貴金属の輸出が続けられ、1668年に国内の銀不足から銀の輸出が禁止された後は、金や銅が代わりに輸出された。その後、輸入品の国産化政策が進められ、18世紀に入ってようやく輸出入に依存しない貿易構造を確立し、貴金属の海外流出に歯止めがかかった³⁸。

中国における銀価格は、明末清初の17世紀中頃には世界の他地域と同程度となり、ポトシ・日本銀のブームはいったん終わりを告げた³⁹。その後、19世紀中頃までの2世紀の間、世界的にみると金銀比価は1対15前後で安定していた⁴⁰。もっとも、増産が続くメキシコなどアメリカ大陸の銀は、清の時代（1616-1912年、明の滅亡は1644年）に入ってから引き続き中国に流入していた。この時期の中国は人口増加により経済規模が拡大し、銀に対する需要が増えていた。中国からは、流入する銀の対価としてそれまでの生糸



中国の銀錠



慶長丁銀 -1601年

35 von Glahn 前掲書 127 頁、および、フリン前掲書 52 頁。

36 クロー前掲書 272-275 頁。

37 鈴木前掲書 45-56 頁。

38 杉山前掲書 45-49 頁、58-59 頁。

39 von Glahn 前掲書 128 頁、フリン前掲書 53 頁。

40 武田晴人「両制度の崩壊—幕末の金流出」『にちぎん』No.18、2009 年、26 頁。なお、厳格な管理貿易を敷いた日本は例外的に銀の価値が高かった（後述）。

や絹織物に加え、主要輸出品としてヨーロッパで人気が高まっていた茶が積み出されるようになっていった⁴¹。オランダに代わり世界の交易の主導権を握っていたイギリスは、19世紀に入ると中国茶の対価としてインドで生産されたアヘンを中国に持ち込むようになり、中国への銀の流入に歯止めがかかった⁴²。

従来、中国に持ち込まれた銀は、中国国内の秤量銀貨に鑄直して使われていたが、清代中期になると、中国の沿海地域ではメキシコ・ドル（洋銀）をそのまま使うようになった。円いかたちから、「1円、2円」と数えることがあり、また、中国語で「円」と「元」の発音が同じであることから「元」の字をあてることもあった。1866年にイギリスが香港で鑄造した香港ドルには、初めて銀貨の上に「銀圓（円）」の文字が刻印された。これが1871年に日本の明治政府が新しい貨幣単位として「円」を採用した理由とする説がある⁴³。明治初年に日本政府が貿易に用いることを目的として発行した貿易銀や本位貨幣として発行した銀貨もメキシコ・ドルの形式や規格をほぼ踏襲している。



日本の旧1円銀貨・明治3年銘

5. 銀から金へ

イギリスは18世紀後半から金本位制に移行していたが、それ以外のヨーロッパ諸国では19世紀中頃まで銀本位制ないし金銀複本位制が採用されていた。普仏戦争の賠償金を利用したドイツの金本位制移行（1871年）を契機に、ヨーロッパ諸国が相次いで金本位制に移行した。これに加えて、銅、鉛、亜鉛の鉱石からの銀分離技術の進歩が銀産出量の増加とともに銀の生産コスト低下を引き起こしたことから、19世紀後半、銀から金への移行と銀価格の下落が並行的に進行した⁴⁴。

1859年、日本は幕末開港により「鎖国」を解き、近代世界に参入した。開港直前の金銀比価は、海外（1対15程度）に比べ日本では銀が大幅に割高（1対5）となっていたが、万延の改鑄により翌1860年には海外とほぼ同水準に調整された。従来、開港直後に裁定取引を狙って大量の金貨が日本から海外に流出したとされてきたが、最近の研究では流出規模はそれほど大きくなかったとの見方が有力となっている⁴⁵。いずれにせよ、16世紀から17世紀にかけての日本銀の輸出とは異なり、19世紀における日本の開港は、世界にそれほど大きなインパクトを与えたわけではなかった。

日本は1885年に国内一円に流通する日本銀行券を銀貨兌換とする銀本位制を採用し、その後、銀安が最も進行していた19世紀末（1897年）にこれを金貨兌換とする金本位制に移行したことから、結果的にこの間の円安による輸出拡大・輸入抑制の効果を最大限享受することとなった⁴⁶。一方中国では、1935年の

41 フリン前掲書 148-149頁。

42 ブルック前掲書 195頁。

43 岸本前掲書 27-28頁。

44 ロンドンにおける銀1オンス（31.1035g）の英ポンド建（当時英ポンドは金本位制下にあったことから金建と同義）価格は、1872年には60・5/16ペンス（0.2513ポンド）であったが、1902年には24・1/16ペンス（0.1003ポンド）となった。西村前掲書 72-74頁。銀価格の原資料は William Frederick Spalding, *Eastern Exchange Currency and Finance*, 3rd edition, I. Pitman, 1920, p.290.

45 武田前掲書 26頁。

46 Kris James Mitchener, Masato Shizume and Marc D.Weidenmier, "Why did Countries Adopt the Gold Standard? Lessons from Japan," *Journal of Economic History*, 70-1, 2010, pp.27-56.

幣制改革まで、明清代以来の銅銭、秤量貨幣としての銀、洋銀のほか、外国銀行や中国の国内銀行が発行する銀行券が使われた。

結びにかえて

16世紀前半に偶発的に相次いで生じた、①経済大国中国における紙幣制度混乱と租税銀納化に伴う銀の利用拡大という需要面の変化と、②2大産地であった日本とアメリカ大陸における銀の産出量増加という供給面の変化を契機として、16世紀後半から約300年にわたり、大陸を越えた銀の国際的な移動が継続し、この間に銀は主要国際商品として遠隔地交易の主役となった。19世紀後半にも世界的な銀産出量の増加がみられたが、この時期には並行してヨーロッパ諸国の金本位制への移行による銀需要の縮小が生じたため、銀価格の下落を伴いつつ、銀は国際商品の主役の座を降りることとなった。

大航海時代、アメリカ大陸の銀鉱の多くを手に入れることで銀の主な供給者となったスペインも、自国のさまざまな産物と引き換えに世界の銀を自国に引き寄せ銀の主な需要者となった中国（ならびにインド）も、その後の世界経済の牽引役とはならなかった。その後の世界経済を牽引していったのは、銀を含む遠隔地交易の利益を商業・金融業の発展や産業革命につなげて生産性を高めたオランダ、イギリスであった。近代ヨーロッパの経済発展の詳細については本稿の検討範囲を超えるが、この点に関して、アダム・スミスは『諸国民の富』（初版は1776年）のなかで、当時の重金主義的な風潮を批判して「富とは通貨、つまり金や銀ではなく、通貨で買えるものにあり、ものを買えるからこそ通貨に価値がある」⁴⁷と述べて、以下のように記している。

どの国でも、その国の国民が年間に行う労働こそが、生活の必需品として、生活を豊かにする利便品として、国民が年間に消費するものすべてを生み出す源泉である。消費する必需品と利便品はみな、国内の労働による直接の生産物か、そうした生産物を使って外国から購入したものである⁴⁸。

実は、アダム・スミス以前の中国においてもこれと同様の認識を持つ人物が存在していた。フォン・グランによれば、明朝末期の高官であり思想家であった徐光啓（1562-1633年）は、当時における銀の流入に反対して以下のように述べていたという。

貨幣も銀も富ではない。それらは富のたんなる物差にすぎない。古代の賢人皇帝らが富について論じたとき、それは人々の糊口を凌ぐ穀物と人々を包む衣服のことを意味した。……銀や貨幣の量が多ければ多いほど、穀物や衣服は高価になり、そのあとに起きる欠乏はますます厳しいものとなる⁴⁹。

先人は、銀を手に入れること自体が豊かになることを意味せず、手に入れた銀をどう使うかが重要であることを認識していた。21世紀に生きる我々も、「貨幣は富ではない」という先人の言葉の意味をもう一度かみしめる必要があるかもしれない。

以上

47 アダム・スミス（山岡洋一訳）『国富論（下）』日本経済新聞出版社、2007年、13頁。

48 アダム・スミス（山岡洋一訳）『国富論（上）』日本経済新聞出版社、2007年、1頁。

49 von Glahn 前掲書 199頁。翻訳はデニス・フリン（秋田茂・西村雄志訳）前掲書 129頁からの引用。

戦時体制下で紙幣製造に超多忙だった印刷局

満州銀行券から軍票まで紙幣彫刻に奔走した彫刻官・加藤倉吉

(紙幣研究家) 植村 峻

昭和7年頃の内閣印刷局の業務

大正12年の関東大震災により壊滅的な損害を受けた当時の印刷局（明治31年の官制改正により大蔵省所管から内閣所管となっていた。）は、従来の東京・大手町の紙幣印刷工場の復興移転先として、東京都北区（当時は東京府下滝野川町西ヶ原）の農事試験場敷地内の一部移管を受けて、昭和5年12月には滝野川分室が完成し、震災で破損した機械類の修理を行い、更に外国から新しい機械設備を導入、製造能力の増強を実行し、また被災した王子の抄紙部でも設備の更新を果たした。

当時は大震災により大量の兌換銀行券が焼失したと推定されたことや、昭和2年の金融恐慌の際の緊急時に暫定的な裏白銀行券を発行するなどの混乱があったが、それが収まった昭和5年には、昭和2年に制定された兌換券整理法に基づいて、明治以降発行されてきた多くの種類の古い銀行券を廃止し、新たに同年1月以降聖徳太子の肖像を採用した新様式で、偽造防止対策も万全な乙百円券や、同様に和気清麻呂の新図柄の丙拾円券、菅原道真の新図柄の丁五円券などの製造が行われ、新券が発行されるという事態となっていた。

昭和5年の新シリーズ券の発行に伴う特別増産を除くと、昭和6年当時の印刷局の年間の紙幣製造枚数は、昭和初期の不況もあって日本銀行兌換券が約4300万枚、朝鮮銀行券や台湾銀行券が約1500万枚、合計で約5900万枚程度の製造体制であったが、当時の震災後再建された印刷局の能力は、当時の銀行券の製造需要にはこれで十分対応できる体制であった。新発行の金兌換券は、優れた白黒透かし入りの紙幣用紙であり品質面では優れたものであったが、基本的には明治以降の伝統的な手書き技法を用いた生産性が低い用紙製造であった。また印刷面でも、銀行券の地模様は当時としては最新鋭のドイツ製のイリス凸版輪転4色印刷機を用いた多色印刷であったが、肖像や輪郭枠などの凹版の主模様は、当時主要な外国印刷局でも使用していた半自動の凹版速刷機による印刷であり、年間製造枚数が約6000万枚程度という安定した製造体制であった。

しかしながら、昭和6年の満州事変後には、日本の関東軍の支援により昭和7年に満州国が建国され、その銀行券需要が急増したため、年間5千万枚の製造体制では対応できなくなった。即ち満州国からの銀行券の製造需要が毎年約5千万枚もあり、当時の内閣印刷局の製造能力に比べて倍増したため、これに対応するためには、製紙工程や印刷機械設備面、作業技術要員の増強が求められることとなったのである。その後更に昭和12年には盧溝橋事件、第2次上海事変など日中間の戦線が拡大して、中国大陸における軍票や、日本が支援した中国の華興商業銀行券などの製造需要が急増するに伴い、人手不足の内閣印刷局に対して急速な製造能力の増強が求められ、臨時作業場や臨時職員の採用、外注作業の拡大などの緊急施策が導入された。

戦時中の昭和18年11月には、通貨政策と密接な関係のある銀行券や軍票の製造の重要性に鑑み、印刷局はそれまでの内閣所管から大蔵省の所管に戻り、規模の拡大により銀行券等の製造枚数が急速に増大することとなった。

またこれらの新しい外国銀行券や軍票の発行増加に伴い、そのデザイン作成、肖像などの凹版彫刻の需要も当然ながら急速に増大したが、当時の印刷局は昭和5年に兌換銀行券整理法に基づく新図柄の乙百円券、丙十円券、丁五円券などを発行したばかりで、昭和初期の不況時により銀行券の製造需要が伸び悩んでいた時期であったため、図案や凹版彫刻を担当する技術者も極めて少ない状態であった。その様な環境下で、急増する新規外国銀行券や軍票の需要に対応し、優れた才能を生かして次々と短期間に銀行券等に不可欠な肖像彫刻をこなし、獅子奮迅の働きをしたのは内閣印刷局の重鎮・加藤倉吉彫刻官であった。

印刷局における紙幣、銀行券製造枚数の推移（単位：百万枚）

昭和	日銀券等	日本の紙幣、銀行券	外銀券等	外国銀行券等印刷開始	合計枚数	備考
5年	70.0	乙100円券、丙10円券、丁5円券発行	16.7	朝鮮、台湾銀行券の継続しての印刷	86.7	新シリーズ券発行に伴う増産
6年	43.3	乙20円券発行	15.6		58.9	満州事変勃発
7年	38.5		57.0	満銀券印刷開始（甲）	95.5	満州国建国
8年	44.8		52.0		96.8	
9年	55.9		47.5	ビルマ国立銀行券印刷	103.4	
10年	66.0		60.7		126.7	
11年	81.2		86.7	冀東銀行券印刷開始	167.9	
12年	79.2		119.5	満銀券（乙）印刷開始	198.7	日華事変勃発
13年	423.3	50銭政府紙幣発行	155.9	聯合準備銀行券印刷開始	579.2	臨時通貨法制定
14年	551.6		187.2	中国用軍票（乙、丙）	738.8	
15年	639.9		279.5	華興商業銀行券印刷開始	919.4	汪兆銘政権樹立
16年	591.7	い5円、甲千円券印刷	527.6	儲備銀行券、南方軍票	1,119.3	大東亜戦争勃発
17年	503.3	日銀法による新銀行券	1,092.5	タイ銀行券印刷開始	1,595.8	管理通貨制度移行
18年	385.1		1,037.1	儲備銀行券、南発券	1,422.2	
19年	1,959.8	小額銀行券印刷	1,970.1	フィリピン銀行券	3,929.9	
20年	2,014.3	簡易印刷暫定券印刷	265.5	海上輸送難で現地生産へ	2,279.8	大東亜戦争の終戦
21年	5,582.9	新円切替え・A券	0		5,582.9	インフレの激化

加藤倉吉（1894～1992）は天才的な凹版彫刻師であったが、彼の父は江戸時代の銅版画家、彫刻師・安田雷州の愛弟子で月尾と名乗り、自らも銅版工房を営んでいた。その子として生まれた倉吉は、子供の頃から父から銅版彫刻の手ほどきを受け、当時の旧制私立商工中学在学中に、当時印刷局の彫刻第1室長で、「田沢切手」で有名な田沢昌言の推薦で明治43年・17歳の時、印刷局に入局した。その後、印刷局教習所において最優秀の成績を採り、若くしては判任官に任命され、これまたアメリカ帰りの有名な大山助一彫刻課長の下で、凹版彫刻の指導訓練を受けた。その後彼は、多くの郵便切手の版面彫刻などを手掛け、36歳の若さで昭和5年発行の和氣清麻呂の肖像の「丙拾円券」の肖像彫刻を任せられ（版面の彫刻は昭和3年に実施済み）、大山から受け継いだアメリカ式の力強い画線構成の肖像を見事に彫り上げたのであった。その後相次いだ外国銀行券の肖像も、殆ど彼一人で彫るといふ離れ業を繰り返して、昭和15年には46歳で彫刻部門の頂点である彫刻課長に就任している。昭和7年以降発行の満州中央銀行券、華興商業銀行券、中央儲備銀行券、タイ王国紙幣、そのほか多くの軍票の図柄など、昭和7年以降合計50種類以上の外国銀行券の肖像や図柄を彫り上げ、また日本の政府紙幣や銀行券でも9種類の肖像などを彫り上げている。

加藤倉吉の彫刻技法の特徴は、画線の太い大胆な曲線や点線を用いた力強い技法であり、大山助一の彫刻技法を受け継いだもので、対象となる肖像人物の容貌の特徴を的確に把握して写實的に再現するのはもとより、生き活きと生存感を持たせた彫刻画線が特徴で、その人物の精神的な内面まで再現する力があると言われている。彫刻画線はお雇い外国人キヨッソーネのような繊細で芸術的な要素があるものではなく、凹版彫刻技法の原理に忠実な画線構成（配線）で、図版にもよるがシャドウ部分などを除き可能な限り太く大胆な曲線や点線で表現している。

なお、当時太い凹版画線が使用されたのは、当時の原版の複製方式が転写凹版方式であったことにも関連する。この技法では、細い繊細な凹版画線は転写段階でうまく再現できないという問題点もあり、意識的に太い画線を用いなければ意図した凹版画線を再現できないという技術的な制約もあったためである。しかも、加藤倉吉は彫刻の天才とも言われており、通常は肖像一つを彫り上げるために3カ月を要すると言われる中で、僅か30～49日程度の短期間で彫り上げる力量を持っていたため、昭和初期から戦中、終戦時までの間に次々と新規発行が求められた日本の政府紙幣や銀行券、国債、郵便切手や印紙をはじめ、外国からの銀行券の肖像、建物などの図柄をテキパキと彫り上げることが出来たのであった。印刷局の歴史の中でも、一人でこれほど多くの作品を彫刻し、製版用の下図や版下を作成した人物は、彼を除いて類を見ないと言える。

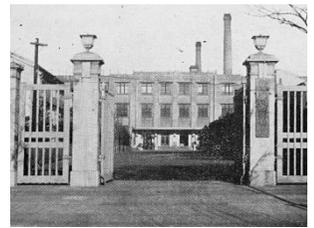
なお、彼は終戦後にもB千円券に使われた聖徳太子像、B五百円券の岩倉具視の肖像などを彫り上げており、これらの銀行券が発行される以前の昭和24年に55歳で印刷庁を退職した。その後は銅版画家として活躍し、平成4年に高齢の98歳で他界しているが、戦中の超繁忙期において殆ど一人で多くの凹版彫刻作品を残した功績のある人物は他には存在しないと言える。



加藤倉吉が最初に彫刻した銀行券肖像の丙10円券と、和気清麻呂の肖像



殺到する銀行券等の肖像を次々と彫り上げた名彫刻師・加藤倉吉



東京・滝野川に完成した証券印刷工場の印刷局滝野川分室

満州国の建国と満銀券の製造に活躍した凹版彫刻師・加藤倉吉

満州事変後に日本の関東軍の画策と支援により満州帝国の執政に担ぎ出され、その後皇帝になった清朝最後の皇帝・愛新覚羅溥儀は、1932年（昭和7年、満州国の大同元年）に満州国を樹立した直後、満州中央銀行を設立して銀行券の発行を開始した。当初は本格的な銀行券の製造が間に合わなかったため、現在の中国東北部、当時は満州地域の各軍閥政権が発行していた「東三省札」の統一を図ることとなり、「満州国貨幣法」を制定して日本円と同価値の銀本位制の銀行券を発行することとなった。しかしながら、建国が急であったため時間的な余裕が無く、直ぐには新規の本格的な銀行券の製造、発行ができなかったため、過去に流通していた「東三省官号銀券」の券面に「満州中央銀行」の文字と、発行の根拠法の条文などを加刷して、暫定的な改造券として発行した。

一方、満州中央銀行の設立と同時に、満州国政府からは日本の内閣印刷局に対して、同国の銀行券を至急製造するよう依頼があった。しかし極めて短い納期のため、本格的な肖像の凹版彫刻を施した銀行券の製造は無理であったので、暫定的に「甲券」と称する満州国国旗等を描いた銀行券を急遽製造、発行することとなった。この甲券は百円、拾円、五円、壹円、五角の5券種で、当初五角以外はすべて同じ図柄で凹版彫刻による満州国国旗と建物を描いたもので、地模様には4色凸版印刷を使用したものであった。

この甲券の凹版彫刻を担当したのは、当時印刷局の彫刻部門の責任者で彫刻課次席の加藤倉吉彫刻官であった。彼が初めて満州中央銀行券の彫刻を手掛けたのは1932（昭和7）年でまだ次席の彫刻官であったが、彼は仕事が早く凹版彫刻の仕上がりも良かったため、その表面の建物の図柄を僅か4日間で彫り上げたほか、凹版彫刻だけではなく製版面でも画期的な工夫を行ったのであった。

この満銀券の甲券は約3年間使われたが、満州国の人々の一層の共感を得るために銀行券の図柄改訂が計画され、当時は中国人に馴染みの深かった孔子や孟子などの聖人を肖像に用いた乙券を発行することとなった。そのため、満州銀行から再び内閣印刷局に対して発注がなされ、1937（昭和12）年4月から翌年4月にかけて次表のように肖像を描いた銀行券が相次いで発行された。デザインは岡村実図案官、肖像彫刻は主に加藤倉吉彫刻官が担当し、また凹版輪転機の実作業投入など、総力を挙げて製版、印刷作業に従事した結果、その後1944（昭和19）年までに本格的な凹版+凸版多色印刷の銀行券を大量に製造したほか、低額の日本銀行券にもその技術が用いられ、従来に比べて銀行券の大量印刷を成し遂げている。

発行年	券種	表面肖像	凹版彫刻者	彫刻期間	裏面図柄	原版彫刻者
1937	拾円	財神（趙公明）	加藤倉吉	正味58日間	満銀の建物	野間謙一
1937	壹円	孔子	加藤倉吉	正味44日間	莊院（皇宮）	青木寅吉
1938	百円	孔子、大成殿	加藤倉吉	正味40日間	羊の群れ	青木寅吉
1938	五円	孟子	青木宮吉	正味35日	国務院	加藤倉吉
1937	五角	財神（趙公明）	加藤倉吉	不明	門坊	野間謙一

肖像彫刻に際しては、中国において広く尊敬崇拝されていると言われた商業神の財神や、論語などで知られる聖人・孔子や孟子の肖像画を集め、これを基に凹版彫刻技法を用いて立体感のある肖像彫刻を行っている。当時はまだ写真製版による複製が困難とされた時代であったため、豊かで微細な髭を持つ肖像人物が選ばれ、その肖像の表現も優れたものであった。特に加藤倉吉彫刻官の凹版画線は優れたもので、また顔の彫刻についても原画のイメージを生かして力強い点線や曲線を用いて立体的に、生命感が出るよう厳しい目線などを彫刻しており、短期間で肖像を彫り上げたが、作品は彼の力量を十分に発揮している。

百円と十円券に採用された肖像は「孔子」で、帽子などが異なる別の図柄である。「孔子」（BC551～BC479）は中国春秋時代の思想家、哲学者で、儒教の始祖であり、身分制秩序の復活や仁道政治を呼びかけ、孔子の語録が「論語」にまとめられている。顎鬚の豊かな孔子の像は、中国古代からの文献「光師孔子行教像」などで多く残されており、また孔子を祀る中国山東省の孔子廟などにも存在するが、当時何を基にデザインし、彫刻したかの記録は残されていない。また拾円券と五角券に描かれた財神・趙公明は道教の神であり、金運を高め、財運を呼ぶ蓄財招福の神として信仰されており、毎年1月5日には天界から財神が降りてきて財宝を人々にもたらすとされており、人々の金銭に対する信仰を表すものとして銀行券の図柄に採用されたとみられるが、具体的な原典となる資料は不明である。更に五円券に描かれた中国・戦国時代の孟子（BC372～BC289）は性善説の儒学者であり、その肖像も中国では多く残されているが、元になった原典も明らかではない。なお、百円券の表面左に描かれた大成殿の建物は孔子を祀る孔廟であり、歴代の皇帝たちによって増築されて、境内は壮大な宮殿のようになっているが、その中心に存在するこの廟所は、現在ではユネスコの世界遺産にも指定されている由緒ある建物である。

満州中央銀行券の紙幣用紙関係では、券面中央付近には白黒透かしで「満州中央銀行」の文字を抄き入れており、特に五角券の左空白部分に採用された「財神」の肖像の透かしは、当時未だ日本では実用化されていなかった精緻な白黒透かしの肖像であり、まだ完全な品質とは言えないが、日本の銀行券に先駆けて見事に実用化している。このように当時内閣印刷局の全面的な協力体制のもとで、満銀券の製版や印刷が行われたため、満州中央銀行券の表面下部には「大日本帝国内閣印刷局製造」の銘版が印刷されている。



加藤倉吉彫刻官が凹版彫刻した孔子の肖像入りの百円券と肖像部分

中国の文献にみる孔子像、東京・湯島聖堂に立つ大きな孔子像（参考用）



加藤倉吉が凹版彫刻した拾円券、「財神」の肖像と、財神の画像



加藤倉吉彫刻の壹円券と「孔子」の肖像、文献にみる孔子像



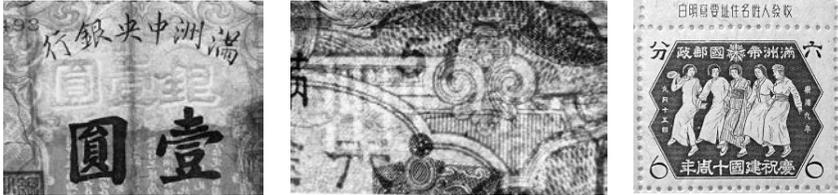
青木宮吉彫刻官が凹版彫刻した五円券と孟子の肖像、文献にみる「孟子」像

当初満州中央銀行では紙幣用紙の抄造や凹版原版の彫刻を日本の印刷局に依存していたが、やがて昭和11年頃以降には満州国において紙幣国産化の動きが現われ、責任者の李紹庚交通部大臣等が来日し、日本からも矢野道也印刷部長が満州を訪問して、技術移転等の相互交流を深め、最初に日本から郵便切手の凹版原版が提供され、それを元に満州国において切手の国産化が実行された。銀行券については、昭和13年に凹版とインキ材料の責任者が満州国印刷廠に、昭和14年には検査作業関係の責任者、昭和18年には凹版彫刻者数名が転出赴任したほか、かなり多くの優秀な日本の技術者が満州に赴任したため、凹版彫刻や製版、凸版や凹版印刷の一貫製造体制が確立し、第2の印刷局とも言える規模の満州帝国印刷廠が樹立され、銀行券の現地国産化が図られた。一方、満州印刷廠からも製版等の実習のために内閣印刷局の滝野川分室に技術者が派遣され、技術習得が促進された。

満州国では1940（昭和15）年9月に約1000人の職員を擁する新工場が新京（現在の長春）市内の吉林大路に竣工（その建物は現在は長春新華印刷廠）した。1943（昭和18）年には平版印刷を用いた五角券の現地製造がスタートし、更に1944（昭和19）年には凸版印刷機18台、凹版速刷機11台を保有することとなり、全券種について凸版機や凹版印刷機を用いた本格的な銀行券製造体制が整い、現地での製造が開始された模様である。しかし銀行券の原版は日本から供給したものであったため、銘版は依然としてそのままの「日本帝国内閣印刷局製造」であった。昭和19年頃には日本の敗色が濃くなり、紙幣用紙をはじめ全

ての素材の調達が現地で行われることとなったが、印刷用の資材の不足のため日本国内と同様に、銀行券の用紙や印刷方式が次第に粗末なものになっていった。

また戦時インフレの加速にともない、高額券発行の必要が生じたため、満州国で独自に計画された千円券の製造発行に際しては、現地の凹版彫刻者によって孔子の肖像が凹版彫刻され、またカラフルな地模様は平版多色を用いて印刷された。この満州帝国印刷廠で凹版彫刻された孔子の肖像は、加藤倉吉の彫刻と比べると画線構成などの出来栄は必ずしも十分ではなかった。しかし、地模様や大成殿の図柄の印刷は優れたものとなっており、券面下部にははっきりと「満州帝国印刷廠製造」の製造銘版が入っていたが、昭和20年8月の日本の敗戦により、満州国も瓦解して銀行券の発行が出来ず、幻の銀行券となった。



壹円券用紙に使用された白黒透かし（図版）五族の女性を描いた満州帝国の切手



「財神」を描いた五角券の表面と裏面の門坊、表面左空白部分の「財神」の白黒透かし



満州国印刷廠で凹版彫刻し、印刷が完了したものの不発行となった千円券、肖像の拡大

日中戦争の激化と、龍や鳳凰を用いた軍票の製造

関東軍の軍事的独走による満州事変、更に満州国の樹立後、軍部は更に侵略戦争の拡大を図り、柳条橋事件を契機に華北への侵略活動を、更に上海や南京への侵略を開始して、当時の呼称での日華事変が拡大して行った。日中戦争の初期段階では、当時の内閣は戦争不拡大の方針を採ったこともあり、中国全土に戦線が拡大することが予測されていなかったため、軍票の製造準備がなかった。1937（昭和12）年のいわゆる日華事変勃発当初には、ゲルマン紙幣の原版を手直した甲号の軍票が使用されたが、古めかしい図柄であり偽造券も多く発生した。そこで1938（昭和13）年には、日本国内で使用されている日本銀行兌換銀行券の「日本銀行券」の題字や「日本銀行」の文字を赤で抹消し、赤文字で「軍用手票」などと加刷した乙号軍票や、券面に赤字で大きく「大日本帝国政府」「軍用手票」の文字を加刷した丙号軍票が発行された。



当初発行された暫定的な乙号と、丙号軍票

しかしこれらは、余りにもお座なりで杜撰な、間に合わせの軍票であるとの声が強く、1939（昭和14）年以降、鳳凰や竜など中国人にとって馴染みの深い図柄を採用した軍票が発行されたが、これらの多種類の「丁号」や「戊号」などの軍票は、内閣印刷局でデザイン、凹版彫刻、印刷され発行された。これらは主に中国本土の中・南部地区で使用された軍票で、これも軍から印刷局に対する指示により製造されたもので、軍票の図柄には中国人が好む龍や鳳凰などの図柄を、主に加藤倉吉彫刻官が凹版彫刻し、重厚感のある本格的な軍票として印刷され、軍に引き渡されたのであった。

これらの軍票の図柄は、当初の段階ではいずれも凹版彫刻された雲の中を舞う龍や鳳凰の図柄を用いたものであり、表面には地紋模様を凸版多色印刷し、主模様の周囲には白黒彩紋模様等の輪郭枠を凹版印刷している。当初の丁号五拾銭等の軍票には「大日本帝国政府軍用手票」の題字、雲の中に頭を出した龍の姿、乙号壹円券は尾の長い優雅な2羽の鳳凰が空を舞う姿、拾円券は玉を掴んだ雲の中を舞う龍の姿が描かれており、いずれも加藤倉吉彫刻官がまずラフ下図を描き、それを基に約30日間を掛けて鳳凰や竜の凹版彫刻を行い、品格のある重厚な軍票として彫り上げている。

翌昭和15年発行の戊号軍票では題字の「軍用手票」の文字が無くなり「大日本帝国政府」となり、記番号が表示されるようになった。やがて昭和18年には、中国本土での軍票発行は原則として中止されて、海南島や香港を除く華中、華南地域で使用される通貨は、中央儲備銀行券に統一されることとなり、原則として軍票は姿を消して行ったのであった。



龍の図柄を用いた丁号軍票拾円券と丁号五拾銭券、加藤倉吉が描いた龍の下図



鳳凰の姿を用いた戊号軍票五円券と、戊号壹円券、壹円券のラフ下図

中央儲備銀行券の原版や印刷に従事した印刷局

日華事変での日中間の戦闘は、武漢の陥落によって本格的な軍事的対決が一段落し、その後は経済的な覇権争いに移り、日本軍により蒋介石政権が立てこもる重慶政府から分離独立する政権の設立を図る動きが加速した。日本側の必死の工作の結果、元重慶政府のナンバー2を勤めた政治家・汪兆銘が中心となった中華民国南京政府が1940（昭和15）年に設立され、新たに南京政府の中央銀行としての「中央儲備銀行」が設立された。そしてこの銀行が発行する銀行券「儲備券」は汪兆銘政権が支配する中国の中・南部地域における「法幣」として用いられることになり、それまで日本軍の画策で設立されていた冀東銀行、中国聯合準備銀行や華興商業銀行が発行してきた冀東銀行券、中国聯合準備銀行券、華興商業銀行券、更に中国各地で発行されていた日本の横浜正金銀行券は廃止され、原則として中央儲備券銀行券に統一する方針が採用された。

なお、これらのうち冀東銀行券や中国聯合準備銀行券は、当初内閣印刷局において原版彫刻や製造を行っていたが、製造能力に限界があったため、日本の凸版印刷株式会社や中国・北京の行政委員会印刷局に製造を移管されていた。聯合準備銀行券の場合は、昭和13年段階では従来の清国の戸部銀行券や大清銀行券で使われていた銀行券の原版の図柄を一部修正し、中央部分には従前の空を飛ぶ龍の図柄、万里の長城

などの風景、孔子などの人物が描かれたものであった。やがて昭和15年以降には新しい図柄に変更し、壹円券には孔子像、五円券には岳飛、拾円券に関羽、百円券には黄帝の図柄を採用していた。なお、その後昭和19年7月には再び依頼を受けて加藤倉吉彫刻課長が拾円券の肖像人物「堯帝」の肖像を僅か17日間で彫刻し、8月に印刷し納入している。

一方、昭和13年に上海、南京を占領した日本軍は、梁鴻志を首班とする中華民国維新政府を設立し、日系の市中銀行等の協力を得て、上海に華興商業銀行を設立して、銀行券の製造を内閣印刷局に依頼した。これを受けて加藤倉吉彫刻官が中心となり、孔子の像と蘇州西園の戒堂寺を彫刻した拾円券、岳飛の肖像と杭州西湖の塔を描いた五円券、壹円券には南京の明孝陵など、華中に関連した図柄を凹版彫刻している。これらの人物の彫刻に際しても、僅か30日足らずの短い期間で精力的に加藤倉吉課長が彫刻を行っている。



加藤倉吉彫刻による華興商業銀行券五円券と岳飛の肖像ラフスケッチ、孔子像の拾円券



中国聯合準備銀行券の百円券、拾円券と堯帝像、孔子の壹円券

先述のように主に華中地区で大量に流通した儲備券については、汪兆銘の南京政府が樹立された直後に、中央儲備銀行から日本の印刷局に対して大量の製造依頼があり、早速原版製造が実施された。儲備券の場合は券種が多いものの、肖像の図柄は共通の「孫文」であり、加藤倉吉彫刻官は、1940（昭和15）年7月から8月にかけての僅か16日間という超スピードで、壹百円、五拾円、拾円、五円、壹円の5券種の表面に共通の革命家・孫文の肖像を彫り上げている。また裏面等には孫文を祀る南京市の「中山陵」の共通の図柄が凹版で描かれた。

彫刻された孫文（1866～1925）は、中国の政治家、革命家で、辛亥革命を起こし、初代の中華民国臨時大統領を勤めたが、その肖像は既に中華民国の法幣である「中央銀行券」にも共通の図柄として彫刻されていたが、加藤倉吉は準備された肖像写真を基に、壮年期を過ぎた真面目な表情の孫文を、緻密な彫刻画線を用いて的確に描いている。加藤倉吉が凹版彫刻した「孫文」の肖像は、元になった写真に忠実であるほか、中央銀行券に比べてやや細身の肖像で、その容貌には孫文の強い政治信念を感じさせる優れた彫刻となっている。当初段階での銀行券の印刷では、日本の優れた印刷技術を宣伝するという意図があったためか、表裏ともに凹版インキの盛りも良い深凹版印刷で、地模様や凹版彩紋模様も優れており、当時の日本の品質が劣化した銀行券よりも出来栄が良いとも言われた。やがてインフレに伴い壹千円券などの高額銀行券が相次いで発行されたが、もはや凹版印刷ではなく、凹版原版から平版オフセット用の版面を作成したものとなり、印刷所も日本の印刷局だけではなく、中国北京の印刷局、香港の臨時印刷局工場など、多くの印刷所で大量に製造されている。



中央儲備銀行券百円券と、共通の「孫文」肖像、元になった孫文の肖像写真、裏面の「中山陵」の図柄



インフレの高進に伴い準備された千円券のデザイン案、実際に発行された千円券
孫文の肖像彫刻に先立ち加藤倉吉が描いたラフスケッチ案

日本銀行券の「日本武尊」の肖像彫刻等でも活躍

もちろん加藤倉吉彫刻課長は、外国の銀行券ばかりではなく、日本銀行券の肖像彫刻にも優れた作品を残している。甲千円券に採用された「日本武尊」の肖像のコンテ画は、磯部忠一図案官が東京帝室博物館の展示品を参考に学芸員・関保之助の助言をもらい、靖国神社の遊就館に赴いて上古時代の服装などに関する資料を調査研究して、完成させた。このコンテ画に基づき、加藤倉吉彫刻課長は、1941（昭和16）年6月から9月までの間の3月間の忙しい間を縫って、実働期間僅か33日間で「日本武尊」の肖像を彫り上げている。日本武尊は古事記や日本書紀に記述されている伝承上の人物であり、もちろんモデルとなる写真や図画も無いため、加藤倉吉はモデルに相応しい人物として若き海軍士官であった高松宮殿下の肖像写真を参考にして、イメージを膨らませて肖像を彫り上げたと言われている。この甲千円券は丁式百円券と共に、昭和17年の日本銀行法により兌換券制度が廃止され、管理通貨制度に移行する直前に発行された最後の兌換銀行券であり、昭和17年4月に発行が告示されたものの、実際に使用開始されたのは終戦直後であった。そのほか、昭和13年には日中戦争の本格化で五拾銭銀貨が政府紙幣に変わった際の「富士桜」五拾銭紙幣や、従来の重厚な壹円券が、簡略な凸版印刷方式の「い壹円券」に変わった際の武内宿禰の肖像の原版彫刻も手掛けたほか、昭和14年発行の「支那事变国債」や「大東亜戦争割引国債」の軍艦や戦車の図柄の凹版原版もすべて手掛けている。



甲千円券に使用された「日本武尊」肖像のラフ下図、甲千円券、若き高松宮殿下



加藤倉吉が彫刻した「富士桜」五拾銭政府紙幣、凸版刷「い壹円」券の武内宿禰の肖像

地域	符号	額面金額	デザイン	図案原版彫刻等
蘭領東印度 (現在のインドネシア)	「は号」軍票 (S)	10、5、1、1/2 グルデン、 10 セント以下 2 種	ジャングルと水辺の小屋、 バナナ、パンの樹	
	南発券 現地印刷	1000、100、10、5、1、 1/2 ルピア	ガルダ、民族舞踏、 伝統的な家屋	現地でのデザイン、 印刷
英領マレー、 シンガポール	「に号」軍票 (M)	10、5、1 ドル 50 セント以下 3 券種	バナナ、パンの樹	
	南発券	1000、100、10 ドル	ジャングルと水辺の小屋	加藤倉吉 (凹版原版)
米領フィリピン	「ほ号」軍票 (P)	10、5、1 ペソ 50 センタポ以下 3 種	アバカの葉	
	南発券	1000、500、100、10、5、 1 ペソ	リサール記念碑	加藤倉吉 (凹版原版)
	銀行券	10 ペソ	リサールの肖像	加藤倉吉 (凹版原版)
英領ビルマ	「へ号」軍票 (B)	10、5、1、1/2、1/4 ルピー、 10 セント以下 2 券種	アーナンダ寺院と椰子の 木	加藤倉吉 (平版原版)
	南発券	100、10 ルピー	文字のみ	
英領ニューギニア	「と号」軍票 (O)	1 ポンド、10 シリング ほか 2 券種	海岸の椰子の木	加藤倉吉 (平版原版)

太平洋地域の軍票製造でも超多忙だった印刷局の業務

1941 (昭和 16) 年 12 月の大東亜戦争突入に先立って、日本は欧米諸国による経済制裁を受け事態の政治的な解決が困難となり、日米開戦は避けられないという認識で、各種の軍事的、経済的な準備が密に行われていた。その中には、石油や鉱石など豊富な資源確保のために、英国やオランダ等が植民地として確保していた南方アジア地域に日本軍が進駐することを前提に、各地で使用される軍票の製造準備も含まれていた。時間的な制約や軍票の性格上、さほど精緻な凹版印刷を駆使したものは少なく、大部分は平版や凸版印刷による比較的簡易な図柄のものが準備された。高額な軍票は凹版印刷であるが、大部分の軍票は平版オフセット印刷を用いた風景や建物など比較的簡単な図柄が多かったため、印刷局ではデザイナーの図案官ばかりではなく、加藤倉吉彫刻課長などの凹版彫刻者も総動員されて、写真製版用の版下原版を実日数 1 週間足らずで次々と極秘裏に制作した。オフセット印刷により大量に製造された軍票は、南洋の各地方に展開する日本派遣軍に引き渡された。中には開戦直前の 1941 (昭和 16) 年 11 月頃に急遽下図が作成されたものも多く、慌ただしい作業が徹夜態勢で行われた模様である。

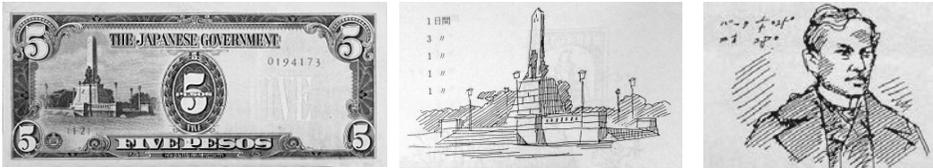
軍票は使用する地域別に通貨単位や図柄が異なるが、各券種の図柄はほぼ同じものが多かったため余り手間がかからず、平版輪転機を高速で運転して製造して納期に間に合わせた。印刷局では製造の際の混同を防ぐため、次の表のように地域別の符号で区分して急ピッチで秘密裏に製造作業を行ったのであった。

昭和 12 年から 20 年までの間に、印刷局が製造した軍票、南発券の製造枚数は外注も含めて合計で約 157 億枚に達しており、特に大東亜戦争勃発後の昭和 16 年から 20 年までが殆ど 90% を占めている。なお、当初準備された軍票は、大東亜戦争が長期化するに及び、南方地域を統括する金融機関である南方開発金庫発行の「南方開発金庫券」(略称・南発券)に代わり、その際一部では通貨の呼称や図柄が変化したものもあった。当初、軍票は日本の印刷局や民間の会社で印刷され、輸送船で現地に運ばれていたが、昭和 18 年頃から米軍潜水艦などの攻撃により輸送が次第に困難となったため、順次現地での製造に切り替えられた。中には直接日本から完成した軍票を輸送する例もあったが、やがて殆どが日本の印刷局で原版を製版して、それを占領地に空輸して現地印刷する例が多くなった。

現地製造の南発券は、蘭領東インド (現在のインドネシア地区) においては、日本の凸版印刷株式会社が軍部の依頼により現地に設けた製紙工場や印刷工場で、本土よりも優れた図柄や品質の軍票を製造供給

したほか、香港に設けられた印刷局の臨時香港工場でも空輸された版面を用いて、中国本土用の儲備券や軍票の現地生産が行われたのであった。

加藤倉吉彫刻官も、戦時中の一時期にはフィリピンに赴き、現地の軍票や軍政下で設立されたフィリピン銀行券の凹版彫刻に従事した。昭和17年当初準備され、発行されたフィリピン向けの「ほ号」軍票（符号P）では丈夫な植物繊維が採れるマニラ麻（アバカ）の樹木が描かれたオフセット印刷の粗末な軍票であった。しかしその後、フィリピンの国民感情を考慮して、図柄を独立の英雄「リサル」の記念碑に代えた南発券が発行されたが、その共通図柄の記念碑の凹版原版は、加藤倉吉彫刻課長がわずか1週間で凹版彫刻したものであった。そのほか軍票や南発券とは別に、昭和19年には現地のフィリピン中央銀行が発行するリサルの肖像入りの10ピソ券の原版が、加藤倉吉彫刻課長によって凹版彫刻され、現地での印刷の際には加藤倉吉彫刻官も原版を持参して軍用機で現地に向かい、印刷が完了すると、早々に米軍の攻撃を避けて飛行機で引き上げ、台湾経由で無事日本に帰国している。



加藤倉吉が凹版彫刻し、フィリピン南発券に使用されたりサル記念塔の図柄
凹版彫刻前に加藤工芸官が描いた作成したりサルの肖像の版下図

戦闘激化で香港やインドネシアでの現地製造が行われた軍票、南発券

大東亜戦争勃発の僅か数か月前から極秘裏で、日本軍が進駐する予定の東南アジア地域で使用する軍票の版面制作と印刷が内閣印刷局で開始された。大部分の軍票は、時間的な制約から高額券を除き、原則として凸版印刷や平版オフセット印刷が主体で、紙幣用紙には簡単な白透かし入りの用紙が用いられた。この緊急事態に際して、印刷局の技術陣は徹夜態勢で作業に当たり、平版印刷用の版下作製は図案官だけではなく彫刻官も動員された。加藤倉吉彫刻課長も率先して作業に当たり、ビルマ地区で発行する「へ号」軍票（B符号）に共通使用する「仏塔パゴダ」の図柄や、オセアニア地区で発行する「と号」軍票（O符号）共通の図柄である「椰子の林」の図柄の版下を、それぞれ3～4日で完成させている。そのほか、当初の段階では蘭領インド（インドネシア）方面の「は号」軍票、マレー方面の「に号」軍票についても、総動員体制で製造して軍に納品したのであった。



加藤倉吉が作成したビルマ向け「へ号」軍票の共通オフセット用原版とラフ下図
昭和16年に製造したマレー方面用の高額100ドル軍票



日本占領下のインドネシア地区において、凸版印刷会社によって製造された現地デザインの南発券と、これを製造したゴルフ印刷工場



香港占領下での印刷局臨時香港工場と、現地印刷の軍票、現地採用職員による銀行券の検査仕上げ作業

昭和16年12月の大東亜戦争直以後に日本軍が占領した香港では、従来から中国の蒋介石政権の依頼に基づき香港・九龍地区にある中華書局・証券印刷工場において、最新の製版設備やドイツ・ケーニッヒ・パウアー社製の紙幣専用の凹版輪転印刷機やイリス凸版4色輪転機、2回転凸版印刷機、平版印刷機など多数を保有して、中国の銀行券「法幣」や切手の製造を行っていた。そのため軍は最初に、この工場を接収して内閣印刷局の臨時香港工場とし、日本の印刷局から最初二十数名の職員を派遣し、また現地の印刷技術者約150名を雇用して、昭和18年6月に工場を再開した。その後更に日本人技術者十数名を派遣、印刷用原版は東京の印刷局から運び込み、印刷用の実用版を現地香港で製版し、紙幣用紙やインキを日本から送り込み、東南アジア各地区で使用する軍票、南発券、中国本土の華中、華南で使用する中央儲備銀行券の製造を開始した。

やがて香港島の商務印書館の工場も印刷局の管轄下に置き、銀行券や軍用の製造が始まった。昭和19年頃以降は、日本からの銀行券用の諸材料の海上輸送が潜水艦攻撃によって不可能となり、現地調達を材料を使って儲備券などを製造し、陸路中国本土に輸送していた。しかし、それらの材料もやがて底を突き、ついには在庫量の多い赤色インキを多く使った色変わりの軍票などを製造したのであった。やがて終戦となり、現地の工場は閉鎖され、日本人職員は強制収容されたが、全員の帰国が認められたのであった。なお、香港島占領時には、軍は押収した凹版輪転機や「法幣」の版面、銀行券の半製品などを、日本の陸軍登戸研究所に送り、それらは陸軍による「法幣偽造作戦」に利用されたのであった。

一方、蘭領インド（インドネシア）に進駐した日本海軍は、ジャワ島の旧蘭領印刷所や製紙工場を接収し、その最大のゴルフ総合印刷工場の稼働を凸版印刷株式会社に委託した。凸版印刷では約40名の職員を赴任させ、最新鋭のインキ製造、製版、印刷機を備えた工場に、軍票の製造を開始した。当初日本で製造して南方に送られていた軍票や銀行券は、米軍の潜水艦攻撃で殆ど到着しなくなったため、現地の材料を使い日本から搬送された版面を使って、昭和18年頃から蘭領インドだけではなく、周辺のマレーシア、シンガポールの軍票やタイの銀行券なども製造し、搬送するようになった。特に軍票が南方開発金庫券に変わった昭和19年の時点では、委託を受けた凸版印刷ではゴルフ工場において、民族舞踊やガルーダなどの独自のデザインを用いた軍票を製造し、これが南発券として発行されたが、その図柄や品質は、当初の軍票に比べてデザインや印刷技術も極めて優れたものであった。やがて海上ルートが潜水艦攻撃で封鎖され、現地製造に移行したが、他の地域とは異なり、比較的材料等の確保が十分であった。

タイ王国向けの凹版原版の作成と印刷

太平洋戦争が始まる前におけるタイ王国と日本は友好関係にあり、1941（昭和16）年12月には日泰同盟に関する協定が締結された。やがてタイ政府は米英国に宣戦布告を行い枢軸国側に立ったため、欧米からの経済協力が途絶え、資産凍結が行われた。その結果、当時英国に銀行券の製造を依存していたタイ王国ではその供給が止まったため、急遽日本の三井物産を経由して日本の内閣印刷局に対して銀行券の製造依頼が行われた。

これを受けて日本の印刷局では、急遽幼い国王の肖像を描いた政府紙幣100、20、10、5パーツ券を製造することとなり、肖像彫刻のベテラン加藤倉吉彫刻課長が1942（昭和17）年6月から8月の間に実働僅か26日間で、全券種に共通で使用される肖像原版を完成させるとともに、各券種の表面に印刷される王宮な

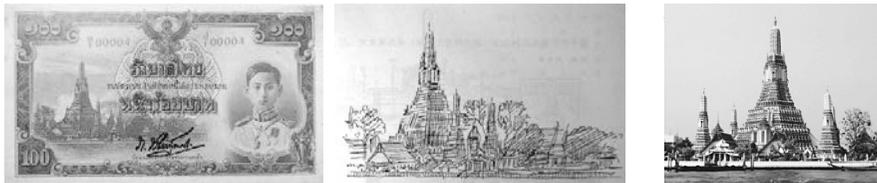
どの風景の凹版原版も、1件を10日余りで彫り上げて行った。

新銀行券にはチャクリー王朝第8代目のラーマ8世、幼いアーナンタ国王の肖像が用いられた。国王は僅か10歳で即位し開戦時には永世中立国スイスに滞在していたが、第2次世界大戦が終わる1945年まで避難のため引き続きスイスに滞在していた。当時まだ16歳の若さであったが、提供された10歳位のあどけない表情の若い国王の写真を基に、加藤倉吉が彫刻したのであった。そして更に各券種に印刷される建物の図柄も凹版彫刻した。表裏が凹版印刷で、白黒透かし入りの本格的なタイ紙幣は、1942年内に用紙製造と印刷が行われてタイ側に引き渡された。1944年にはタイ国内でのインフレに対応した1000パーツ券等の高額券のオフセット用版面も印刷局で制作し、印刷の上供給している。

凹版彫刻された幼い表情が残る国王の姿は、写真の通りの愛らしい容貌であるが、幼いながら国王としての威厳も感じられる表情に彫刻されている。また各券種には肖像の左にタイ国内の有名な寺院など建物の図柄が凹版彫刻されており、5パーツ券には壁や柱に立派な大理石を用い、鮮やかなオレンジ色の屋根を持つ「大理石寺院」ワット・ベンチャマ・ポービットが彫刻されている。また10パーツ券には金色に輝く全長50mの巨大な涅槃仏を祀る王宮寺院ワット・ポー「涅槃寺」の豪華で壮麗な建物を描いている。20パーツ券では避暑地アユタヤに所在する夏の宮殿であり、中国風のデザインの陽明殿・バンパイン離宮が描かれ、更に100パーツ券には朝日が美しい「暁の寺」ワット・アルンを描き、1000パーツ券にはチャクリの「グランド・パレス」を描いている。また裏面の共通図柄としては、翡翠の仏像が祀られている「王宮寺院」グランド・パレスを彫刻するなど、いずれの風景も僅か10日ほどで凹版彫刻を完成させ、豪華な多色凸版+凹版で印刷された紙幣がタイ王国に無事納品されており、ここでも加藤倉吉彫刻官の彫刻の才能が光っている。



1パーツ券の表面、幼い国王の写真と肖像の拡大、国王肖像のラフ下図



100パーツ券と、寺院のラフ下図。「暁の寺」の風景

そのほか、英国の植民地からの独立を志向したビルマのバー・モウ政権を支援するために、昭和18年には印刷局ではビルマ政府のために銀行券や建国国債などの製造も受託し、更に凸版多色印刷と凹版2色印刷を駆使した銀行券1、5、10、100チャット券を製造しているが、その際には加藤倉吉課長も積極的にこれに取り組み、ビルマの国鳥である孔雀が羽を広げた鮮やかな図柄の共通版面を凹版彫刻している。

更に明治時代から製造を続けてきている台湾銀行券や、歴代銀行券に朝鮮王朝時代の思想家、政治家の金允植(1835～1922)がモデルとされる「寿老人」の肖像を描いた朝鮮銀行券についても、戦況が悪くなり製造した銀行券が海上輸送することが次第に困難となったほか、使用する紙幣用紙や印刷方式も次第に粗末な品質に変化した。そのため昭和20年当初に現地自給生産に切り替える方針が固まり、台湾の場合は紙幣用紙を台湾興業会社の工場で抄造し、原版は印刷局から供給されることとなった。朝鮮銀行券についても用紙を北鮮製紙で抄造し、印刷は朝鮮印刷を利用することとなった。しかしながら、現地自給体制

が完備する前に、印刷局の大手町工場等が空襲で破壊され、十分な支援体制が採れなくなったのであった。またアメリカ軍による潜水艦攻撃で、台湾や朝鮮半島など近距離の輸送ルートも絶たれ、日本国内と同様に、凹版からオフセット印刷に切り替え、品質を落とした粗末な銀行券の発行となり、やがて昭和20年8月に終戦を迎えたのであった。



当初は凹版+凸版多色印刷だった印刷局製造のビルマ、朝鮮券及び台湾銀行券

終戦後に凹版彫刻してB券に使用された加藤倉吉の彫刻作品

敗戦によりすべての占領地や外地を失ったため、印刷局における外国紙幣や銀行券の製造は皆無となったが、戦後の急速なインフレにより印刷局の製造能力の限界をはるかに超える銀行券の製造需要が発生したため、民間の印刷工場を総動員して、粗末な品質の銀行券製造が始まった。特に占領軍GHQによる日本の銀行券の製造や図柄に関する規制が強化され、昭和21年には図案の公募によるA券シリーズが発行された。それに先立ち、日本の銀行券図案審査会において、候補のデザイン選考が行われた結果、すべて凸版印刷が作成した図柄に決まり、一時的に印刷局の彫刻部門の活躍の場がなくなってしまった。しかしながら、GHQによる指導方針により、高額券は偽造防止上から凹版印刷を使用し、また図柄や品質数量管理などの徹底の必要上から、印刷局による銀行券図柄の選定、凹版彫刻、場外工場の厳重な管理の徹底という従前の既存路線に戻り、インフレが収まった際には、いずれ本格的な肖像を描いた銀行券を発行することが予定された。

これに備えて、加藤倉吉彫刻課長は昭和21年11月には凹版用の聖徳太子の肖像を彫刻しており、また22年2月には岩倉具視の肖像も彫り上げている。更に将来に備えて、大久保利通の肖像や、板垣退助の肖像も彫り上げるなど、黙々と将来に備えた作業を行っていたのであった。最初の成果は板垣退助の肖像であり、従来の靖国神社の図柄の五拾銭政府紙幣が、GHQの意向でデザイン変更されることとなり、議会制民主主義者を代表する「板垣退助」の肖像が採用されることとなった。この場合、低額紙幣であるため凹版は使用できず、平版用の原版となる凹版肖像を22年8月には完成させている。凹版と異なり微細な画線を使用していないが、板垣退助の比較的若い時代の写真を基にしているため、簡略化した大胆な画線で構成しており、後に発行されたB百円券の肖像とは異なり、顎鬚が横にぴんと張った状態であるのが特徴である。また「聖徳太子」の肖像は、彼が退職後の昭和25年1月にB千円券の肖像として発行されているが、それまでに発行された乙百円券の聖徳太子像に比べると、極めて力強い緻密な画線構成であり、その表情も強い信念を感じさせる迫力のある生命感が感じられる肖像に仕上がっているのが特徴である。



加藤倉吉が彫刻したB 1000円券と「聖徳太子」、B 500円券の「岩倉具視」の肖像

更に彼が彫刻した「岩倉具視」の肖像は、昭和26年4月にB五百円券として発行されているが、その元になったのは明治時代に写真撮影された岩倉具視像であり、明治22年にお雇い外国人彫刻師キヨッソーネが大型銅版画に彫刻した肖像画を参考にして、直刻凹版の技法を駆使して見事に彫り上げたものである。これらの銀行券は、加藤倉吉が印刷局を退職後に発行されたものであるが、彼の在職中に残した名作が無ければ、性急な新規発行券の要請には応じられなかったと言われており、印刷局の昭和初期から終戦直後までの時期における得難い優れた凹版彫刻者であったと言える。戦時中には厳しい過酷な時代の荒波の中で、銀行券などの凹版彫刻に獅子奮迅の想いで従事せざるを得なかったと思われるが、彼が存在しなければ多分円滑な銀行券等の製造発行には至らなかったとも言える。加藤彫刻課長の優れた凹版彫刻技術は、やがて後任の渡部文雄、押切勝三、笠野常雄などの優れた凹版彫刻者たちへと受け継がれていったのであった。

(筆者：植村峻 紙幣研究家、一般財団法人 印刷朝陽会・事務局長兼調査研究部長)

[参考文献]

- 大蔵省印刷局「大蔵省印刷局百年史 第3巻」昭和49年
- 大蔵省印刷局「大蔵省印刷局史」昭和37年
- 大蔵省印刷局「財政金融統計月報」造幣・印刷事業特集 1971年
- 大蔵省印刷局「日本銀行券製造100年 歴史と技術」昭和59年
- 印刷局研究所「彫刻技術とそのエピソード」平成2年
- 植村 峻「紙幣肖像の近現代史」吉川弘文館 2015年
- 植村 峻「日本紙幣の凹版彫刻者たち」印刷朝陽会 2010年
- 内閣印刷局「内閣印刷局七十年史」昭和18年
- 凸版印刷株式会社「凸版印刷株式会社六拾年史」昭和36年
- 凸版印刷株式会社「凸版印刷株式会社史」昭和60年
- 岩武照彦「近代中国通貨統一史 上・下」みすず書房 1990年
- 日本銀行調査局「図録日本の貨幣」第11巻 外地通貨の発行 昭和49年
- 満州中央銀行史研究会「満州中央銀行史」東洋経済新報社 昭和63年
- 菅谷 信「旧満州国貨幣図鑑」彩流社 2011年
- 小林英夫、柴田善雅「日本軍政下の香港」社会評論社 1996年
- 太平洋戦争研究会「図説満州帝国」河出書房新社 1996年
- 寺田近雄「日本の軍票」アド・ユニ 昭和62年
- 堀本 正「日本の紙幣 在外地銀行券」1997年
- 石原孝一郎「日本紙幣収集事典」原点社 平成17年
- 江蘇省錢幣学会「中国近代紙幣史」中国金融出版社 2001年
- 李立夫「偽満皇宮博物院(概覧)」2008年
- 李 重「旧満州国貨幣研究」キュリオマガジン 2008年
- 許光、梁直「日偽政権旧紙幣図録」黒竜江省人民出版社 2005年
- 超隆業「中国紙幣の収蔵と鑑別研究」北京出版社 1998年
- 黄漢森「日治下の馬來亜(新加坡)及其貨幣」収蔵齋出版 1996年
- Charles Stewart「Thai Banknotes」Finance One Limited 1985年
- Carlton Frederick Schwan「World War II Remembered」BNR Press 1995年

第27回東京国際コイン・コンヴェンション即売品の一部



天保五兩判金
極 圖 168万円



試作一円 明治34年 未
[縮小図] 125万円



加賀南鐐銀 一分
美上 圖 50万円



半銭銅貨 明治8年 陰打
美上 8万円



アメリカ 立像20ドル金貨
NGC MS65 32万円
[縮小図]



財務省旧1円金貨
明治4年 中期
美品B 65万円



聖徳1万円札 1桁 1ソ目 未 24万円



靖国50銭
裏面 未断裁
要問い合わせ

《今回の特別販売品》

貿易銀 明9 美品 圖 180,000円(税込)
旧1円銀貨 明3 美品 圖 40,000円(税込)

ブースNo.
G1~4

セキゴチ

〒371-0033 群馬県前橋市国領町2-1-8 TEL:027-232-5789



おかげさまで44年
ありがたう御座居ます。
営業品 古銭、切手、刀剣、
古美術品等 お問い合わせ下さい。 **ブースNo. F7・8**



- ・慶長大判金
- ・元文小判金 献上大吉
- ・和同開珎 銀銭



日本貨幣協同組合/日本刀剣協同組合/東京商工会議所会員

(株)城南堂古美術店

東京都目黒区上目黒4丁目31番10号 TEL 03-3710-6776
携帯 090-3208-9612 代表 田中 勝憲 FAX 03-3710-6777

おかげさまで半世紀

JR・地下鉄駅から徒歩2分

信用と実績でお客様とつなぐ 切手・古銭・紙幣・テレカ・金券売買

日本貨幣商協同組合加盟店
日本郵便切手商協同組合加盟店
日本チケット商協同組合加盟店



ケンディスタンプクラブ

〒160-0004 新宿区四谷1-9 新盛ビル3階
TEL.03-3353-6755 FAX.03-3353-6910 <http://www.kennedystamp.jp/>



■ 販売品の一例 ■

ブースNo.H1~4

御来店お待ちしております。



①天保五両判金 極美品 160万円

②宝永小判金 極美品 110万円

③安政小判金 久神 極美品 65万円

④享保小判金 伊吉 鑑定書付 極美品 60万円

⑤文政小判金 沙七 両面二重打ち 鑑定書付 極美品 45万円



⑥真分二分判金 両面銀線 鑑定書付 極美品 10万円



⑦1次金貨 15万円



⑧2次金貨 14万円

東日本大震災復興



⑨1次銀貨 18,000円



⑩2次銀貨 18,000円



饒益神宝 鑑

佐渡一分金 鑑

享保一分金 逆打

五位堂銭 (亜鉛) 弁に柄杓 54mm [70%縮小図]

正徳小判金 鑑

旧10円金貨 明治4年 無輪 鑑



大型50銭黄銅貨 昭和22年 光線入傾打エラー

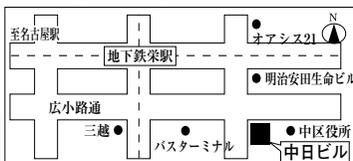


10円洋銀貨 昭和26年 鑑



ジャワ10銭・1銭 (2603・2604年) 4種セット

皇朝銭から現行貨まで多数取り揃えまして皆様のご来場お待ちしております。



地下鉄栄駅より地下街を通過して徒歩3分です。

ブース No. N8~10

株式会社 ユキオスタンプ

〒460-0008 名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル3F
Tel.052-261-8024
E-mail: yukio.co@trust.ocn.ne.jp

■ 営業時間: am10:00~pm19:00 ■ 定休日/第3水曜日

2016 TICC 当社販売稀少品・特価品 お楽しみに!!

1984
〜
2015
金貨全揃えスラブ入応募

スイス現代射撃祭多数取り揃え



2014
プラチナピエフォー
NGC PF69UC 発行3枚
ゴールドピエフォー
NGC PF69UC 発行6枚
各価格応談



2016
シルバーピエフォー
NGC PF70UC 発行25枚
価格応談
2005 50Fr パターン P38b 発行15枚 NGC PF69UC 応談

金貨

1992	NGC 70UC	¥420,000
1993	NGC 70UC	¥400,000
2011	NGC 70UC	¥350,000
2014	PCGS PR69DC	¥250,000
2015	PCGS PR69DC	¥250,000

銀貨

1989	PCGS PR70DC	¥50,000
1994	PCGS PR70DC	¥50,000
2005	PCGS PR70DC	¥50,000
2010	PCGS PR70DC	¥50,000
2013	PCGS PR70DC	¥50,000
2015	PCGS PR70DC	¥50,000

ブースNo. B7~10

株式会社アカデミー商会

PCGS AUTHORIZED DEALER

収集のご相談、ご質問も承ります。
お気軽にお立ち寄り下さいませ。

We wish the TICC continuing success and
look forward to welcoming you to our booth.

SELL
売 & 買
BUY

450-0002 名古屋市中村区名駅4丁目25-21
石田ビル2階

OPEN 10:00 / CLOSE 18:00 日曜休
TEL.052-583-1144 FAX.052-586-5434
出張多い為、ご来店の際はお電話頂けると幸いです。



北海道 1000円カラー銀貨 旧10円金貨 財務省 美品B



旧5円金貨
明治4年
未使用 蓋付
傾打75°



高橋50円百枚帯封 未(難有)、並品百枚帯

地方自治	1000円カラーコイン	
	カラーA	カラーB切手付
北海道	23,000	25,000
京都	15,000	17,000
島根・長野・新潟	各11,000	各13,000
茨城・奈良	各10,000	各12,000
高知	18,000	20,000
岩手(H23)	20,000	23,000
岩手(H24)	60,000	
沖縄・神奈川	各10,000	各12,000
静岡	15,000	20,000
山梨	13,000	16,000
大阪・千葉	各10,000	
カラーA 45種セット(北海道~千葉)	45万	
カラーB 45種セット(北海道~千葉)	53万	
東日本復興金貨 造幣局 1次	15万	
東日本復興金貨 造幣局 2次・3次	各14万	
東日本復興金貨 国債:贈呈用 1次~3次	各値	
東日本復興銀貨 造幣局 1次~3次	各18,000	
東日本復興銀貨 国債:贈呈用 1次~4次	各値	

ブースNo. E8~10

(株) 駅前コイン

当社の最新即売品リスト「2015-II」
ご希望の方は切手200円同封の上申込み下さい。
JR神田北口 0分 03-3256-4384

第9回オークション 5月15日(日)

東京駅前 KITTE

出品予定品 一部ご紹介

日本	旧5円金貨	明治9年	PCGS-M65
日本	新1円銀貨	明治15年	NGC-MS65PL
日本	貿易銀	明治8年	PCGS-M63
日本	竜20銭銀貨	明治24年	PCGS-M67
英国	クラウン銀貨	1847 ゴチック	NGC-PF64
中国	試作1角白銅貨	康徳9年	PCGS-SP61
朝鮮	半銭銅貨	光武10年	NGC-M65RD



詳しくは、オールカラーのカタログをご覧ください。

ブース
TICC K5・6



株式会社 **ミントプラス**

〒590-0904 大阪府堺市堺区南島町1-63
☎ 072-206-1002 Fax 072-206-2002

発行枚数

178枚

財務省放出金貨
旧2円金貨 明治10年
極美品

お問い合わせ
ください



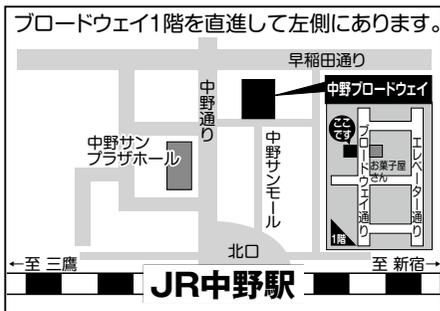
財務省放出金貨
旧10円金貨 明治4年 美品A
旧5円金貨 明治4年 美品A
旧2円金貨 明治3年 美品A
3点セット 150万円

板垣退助100円札 福耳エラー (大型)
未使用 58万円

ご来店お待ちしております



ブースNo.
F9・10



Card shop TREASURE

カードショップ

トレジャー

〒164-0001 東京都中野区中野5-52-15

<http://www.teleca.net/>

12:00~19:00 年中無休

お電話でのお問い合わせはこちら

☎ 03-3389-2222

日本貨幣協会 - 入会のご案内

会長 大場 俊賢 「貨幣」研究・収集の楽しみ

会誌「貨幣」を定期的に刊行。年6回。年会費¥5,000で会員資格が得られます。

「日本貨幣協会」入会の申し込み先及び問い合わせ先

〒164-0001 中野区中野5-52-15 ブロードウェイ251
事務局 野崎 茂雄 TEL 03-3389-5958 FAX 03-3389-5959

日本貨幣協会の貨幣セミナーのお知らせ

「包銀」 丁銀・小玉銀の流通形態、大黒常是と銀座の関係、及び金座と銀座の関係についての誤解。

講師：小槌 義雄氏（日本貨幣協会）

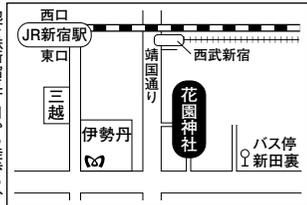
4月29日(金)PM4~5:30
3階クラウンルーム



例会々場

毎月第2日曜日午後1時に開催
東京都新宿区新宿5-17-3
花園神社内・花園会館(社務所)
☎(03)3209-5265

地下鉄新宿三丁目から徒歩5分
JR新宿東口から徒歩10分



日本赤十字社コーナーで世界のコインを配布します

コインで愛の手をつなごう!

— 世界のコインでチャリティー運動 —



日本赤十字社
JAPANESE RED CROSS SOCIETY

東京都港区芝大門1-1-3
☎03-3438-1311
<http://www.sphere.ad.jp/redcross/>

昨年に続きまして、今回もこの東京国際コイン・コンベンション会場の日本赤十字社コーナーでは日本貨幣協同組合の協力のもと海外旅行者やコインコレクターなど、様々な皆様から善意の寄付として寄せられた世界のコイン多数をパッケージにして、会場を訪れた皆様に配布し、ご寄付を募ります。

集められた寄付金は全額、日本赤十字社が行う赤十字活動に役立てられます。

コインコレクターのあなたも是非、このコインを通じたチャリティー活動にご参加、ご協力ください。

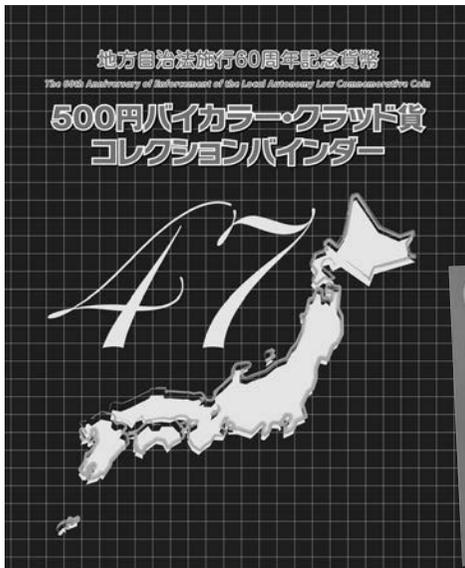
Together for humanity

人間を救うのは、人間だ。

地方自治法施行60周年記念貨幣

500円バイカラー・クラッド貨 コレクションバインダー

改訂版



47都道府県の500円記念貨
が全て収納できます。

保護シール付。

¥900- (税込)



※こちらのコインは別売りです



祝 コインの日制定!!

この度、5月1日が新たに

『コインの日』

として制定されることになりました。
記念式典は4月29日に行われます。
ぜひ、ご参加ください。

JNDAオークション

日本貨幣商協同組合 公式ネットオークション
<http://www.auction-coin.com/>

下値10万円以上の商品は組合鑑定書付きです。
(但し外国コインを除く)

安心・簡単

新規登録
受付中!

JNDAオークション

検索



ブース No.R6



BALDWIN'S

The Name for Numismatics

Steve Hill will be pleased to meet clients at table number (...)
steve@baldwin.co.uk + 44 20 7930 6879



A H Baldwin & Sons Ltd, 399 Strand, London, WC2R 0LX

Specialising in British
and Ancient Coins.



ROYAL PARK CLUB

Premium Member

ロイヤルパーククラブ プレミアム会員

限られたお客様だけに用意されたワンランク上のホテルエクスペリエンス



- 1年に2度のエグゼクティブフロア宿泊ご招待
- 1年に2度のスペシャルディナーご招待
- ベストレート¥21,000にて、エグゼクティブフロアにご宿泊
- 毎月1本ソムリエ厳選の特別ワイン
- メンバーにて1年に2回のキープボトル

※料金は消費税を含む、サービス料別。

入会資格	成人の方で、当ホテルの審査基準に適合される方	Membership Qualifications	: New memberships are subject to verification.
入会手続き	入会申込書にご記入の上、 当クラブ事務局までご返送ください。	Membership Process	: Completed applications should be submitted to the Premium Club Office.
入会金・年会費	入会金 ¥25,000 年会費 ¥125,000(消費税含む)	Membership Fees	: Entrance Fee = ¥25,000 (tax included) Annual Fee = ¥125,000 (tax included)
有効期限	カード発行より1年間	Validity	: 1 year from date of card's issue.

ROYAL  PARK
HOTEL

〒103-8520 東京都中央区日本橋筋最寄町 2-1-1 2-1-1 Nihonbashi-Kakigara-cho, Chuo-ku, Tokyo 103-8520, Japan
Phone:03(3667)1111 <http://www.rph.co.jp>

2016/11/30-12/4 Kam Pek Community Centre
Macau Numismatic Society 2016 Annual Coin Show

Dec.3, 2016 Champion Macau Auction

6/F Promenade, Sofitel Macau at Ponte 16 **Consignment by 9/30**
Chinese Family Collection Part X NC Collection Part II

For Consignments, please contact Michael Chou championghka@gmail.com
Phone: 852-6877-0059 1-6462709988 86-21-62993235 Fax:852-3007-4311

www.cghka.com

Schedule

- 11/30 Macau Numismatic Society Opening Ceremony & Dinner 剪彩活動及邀請晚宴
- 12/1-4 Macau Numismatic Society Annual Expo 澳門錢幣學會年展
- 12/2 Chinese Numismatic Workshop 中國錢幣工作會
- 12/3 Champion Macau Auction 冠軍澳門拍賣會
- 12/4 International Numismatic Seminar 國際錢幣論壇

Champion Macau Auction Highlights 12/6/2015



Lot 135 CHINA-REPUBLIC 1912 Yuan Shi Kai Large Beard One Dollar Silver Pattern, NGC AU58. Rarest Republic Portrait Dollar Pattern. Finest Known ex- 1947 H.Chang-Dennis W. Sibert Collection
Estimate : US \$180,000
Realized : US \$345,000



Lot 382 CHINA-MACAU 2015 Macau Numismatic Society 62.203g Platinum Commemorative Show Panda [Pledfer], Serial number 01
Estimate : US \$3,000
Realized : US \$27,600



Lot 422 CHINA 1992 2000 Yuan 1Kg .999 Gold Proof, Completion of Lunar Cycle, Serial number 18, Mintage 19, NGC PF69 Ultra Cameo
Estimate : US \$400,000
Realized : US \$644,000

iAsure Champion
Room 1102, No 28 Mody Road,
Tsim Sha Tsui, Hong Kong
Tel: 852-3622-1080
Fax: 852-3622-1310

iAsure Shanghai
Room 801, No. 16, Lane 1258,
Changde Rd, Shanghai
Tel: 86-21-62993235
Fax: 86-21-62993235-12

iAsure Taipei
Room 50-51, No. 163
Nan King W. Rd Taipei
Tel: 886-2-25551761
Cell: 886-920630566

2016-17年 香港国际钱币展销会

2016/7 HONG KONG INTERNATIONAL COIN CONVENTION & ANTIQUE WATCH FAIR

26-28 August 2016

April 2017

August 2017

2016-17年 香港钱币拍卖会

2016/17 HONG KONG COIN AUCTION

25 August 2016

April 2017



Holiday Inn Golden Mile Kowloon, Hong Kong



HONG KONG

DON'T MISS HICC 香港
THE ASIA PACIFIC REGION'S
LEADING NUMISMATIC EVENTS

Jointly Organised By:

Ma Tak Wo Numismatic Co., Ltd. & A.H. Baldwin & Sons Ltd.
TEL: (852) 2316 2926 FAX: (852) 2316 7526
E-mail: matakwo@netvigator.com

HERITAGE®

WORLD & ANCIENT COIN AUCTIONS

ヘリテージはニューヨークのNYINC（ニューヨーク・インターナショナル・コインショー）、シカゴのCICF（シカゴ・インターナショナル・コインフェア）そしてカリフォルニアのロング・ビーチ・コインエキスポにおいて、年間の主要オークションを開催しています。また毎週開催されるインターネット・オークションは7日間以内の期限内で、何百ものコインが出品されています。



委託出品期限や条件に関する詳細をお知りになりたい方は、ヘリテージのホームページ HA.com/coins を検索するか、担当役員（電話 +1-214-528-3500）まで、今すぐお問い合わせください。

HERITAGE
AUCTIONS
THE WORLD'S LARGEST
NUMISMATIC AUCTIONEER

Always Accepting Quality Consignments in 40 Categories
Immediate Cash Advances Available

DALLAS | NEW YORK | BEVERLY HILLS | SAN FRANCISCO | CHICAGO | PARIS | GENEVA | AMSTERDAM | HONG KONG

41236

アジア貨幣・紙幣を Stack's Bowers and Ponterioに出品へ!

アジアでの貴重なコインを大募集! 年3回(4月、8月、12月)香港最大級のオークションが行われています。お互いの成功の為に、是非とも出品して下さい!

最近オークションで高額落札された品物:



中国。江南省試造。当十銅貨。
PCGS AU-55。
落札価格: \$50,787.50 USドル



タイ。1868年4パート。
銅ニッケル・ラーマ5世。
NGC PROOF-64。
落札価格: \$25,095 USドル



中国。民国17年張作霖像大元帥。
壹圓。パターン。
PCGS SP-62 Secure Holder。
落札価格: \$179,250 USドル



中国。民国18年孫中山像。壹圓。
パターン。NGC MS-65。
落札価格: USD \$44,812.50 USドル



フランス領インドシナ。1889-A年
フランス造幣局ピアストル。
PCGS PROOF-66。
落札価格: USD \$29,875 USドル



中国。広東省。7錢2分。銀貨。
PCGS MS-66 Secure Holder。
落札価格: USD \$71,700 USドル



中国大清。丙午戸部。壹テール。
パターン。
PCGS SP-64 Secure Holder。
落札価格: USD \$83,650 USドル



中国大清。咸豐八年寶鈔。100,000文。
PCGS Very Fine 30 Apparent。
落札価格: USD \$19,120 USドル



中国。山西。50テール。
VERY FINE。
落札価格: USD \$11,950 USドル



中国大清。宣統三年。伍角。銀貨。
パターン。
PCGS SP-62 Secure Holder。
落札価格: USD \$89,625 USドル



中国。1902年。天津都統衙門。
銀記章。
NGC MS-61。
落札価格: USD \$32,265 USドル



中国大清。光緒三十三年江南裕寧官銀錢局。
壹圓。
PMG Choice Very Fine 35 Net。
落札価格: USD \$13,145 USドル



委託出品の詳細は、香港事務所のメール・電話にて、お問い合わせください。(日本語対応可)
949.253.0916カリフォルニア州 | 212.582.2580ニューヨーク | 852.2117.1191 香港
info@stacksbowers.com | infohk@stacksbowers.com | stacksbowers.com

オークション

Flat 1603, 16/F, Miramar Tower, 132 Nathan Road,
Tsim Sha Tsui, Kowloon, Hong Kong • メール: infohk@StacksBowers.com
電話番号: 852-2117 1191/2117 0295
1231 East Dyer Road, Suite 100, Santa Ana, CA, 92705 • 949.253.0916
Info@StacksBowers.com • StacksBowers.com
カリフォルニア州 • ニューヨーク • ニューハンブシャー州 • 香港 • パリス
SBP Japan CoinShowBook Consign 160224

Stack's Bowers
AND PONTERIO



①神聖ローマ帝国 4ダカット金貨 1765年
マリア・テレジア (1740 - 1780) 稀少品 13.95g EF



②ドイツ リューベック 48シリング金打貨 1752年
現存数2枚 34.65g FDC



③ドイツ ニュルンベルク 6ダカット金貨 1745年
フランツ1世 (1745 - 1765) 稀少品 20.87g EF+/UNC



④イギリス トリプルコナイト金貨 1642年
チャールズ1世 (1625 - 1649) 稀少品 27.12g VF



⑤ハンガリー トランシルヴァニア 10ダカット金貨 1637年
ゲオルグ1世・ラコツィ (1630 - 1648) 現存3枚 34.64g UNC



⑥イタリア ヴェネツィア 8ゼッチーニ金貨 1753年
フランчесコ・ロレダーノ (1752 - 1762) 現存1枚 27.86g



⑦タイ 2パーツ金打貨 ND(1864) 生誕60周年記念
ラーマ4世 (1851 - 1868) 30.28g UNC



⑧ハイパーインフレ ジンバブエ100兆ドル札 100枚束
NO.AA0925801~AA0925900



⑨新入荷 1984年から続く長寿シリーズ第33弾!
2016年現代スイス射撃祭記念ティチーノ大会 50フラン銀貨
品位:900 重量:25g 直径:37mm 発行枚数:1200枚

第42回 日本コインオークション

◆開催日: 2016年12月11日(日)

出品受付中!

◆場所: 丸ビル7階「丸ビルホール」

第42回日本コインオークションへの出品物を募集しております。
ご出品をご希望される方はお気軽にお問い合わせ下さい。



株式会社 **ダルマ**

〒108-0074 東京都港区高輪2-16-32 レアール高輪701
Tel: 03-3447-5567 Fax: 03-3449-3344
E-mail: info@darumacoins.co.jp
URL: www.darumacoins.co.jp



皆様がお持ちのコインと紙幣の鑑定と保証のサービスを日本で受けられる事をご存知ですか？

《《ワールドコインズジャパン(WCJ)はNGC, NCS, PMG グループの日本に於いての「公式受付センター」に認定されています。》》



コインの鑑定と保証

NGCのグレーディングは徹底したその正確さと公正さで収集家の方々から絶大なる信頼と安心を頂いている会社です。その鑑定済コインは世界中で通用するシェルドン数値で保証されています。また、NGC-Ancientでは古代コイン(一部を除く)の鑑定も可能です。



コインの修復と保護

NCSは世界で初めてコインの修復と共にそのコインが持ち合わせていた本来の美しさを復元する技術を持っている会社です。コインに付着している汚れや有害物質を取り除くと同時に大切なコインを最適な状態で保護、保全する事が出来る様になりました。



紙幣の鑑定と保証

PMGは世界中の収集家の皆様から認められている紙幣のグレーディング専門会社です。その鑑定する技術、経験、知識は長年にわたり世界中の収集家の皆様方に信頼されてお、鑑定後の紙幣はPMGによりその価値が保証されています。



NGCcoin.jp
+852 2115 3639
Asia@NGCcoin.com

大切なコインと紙幣を責任
をもってお預かりします。



公式受付センター
ワールドコインズ・ジャパン
WORLD COINS JAPAN



Coins.co.jp
+81 03 5777 0351
Info@Coins.co.jp

PCGSは30周年を迎えます!

— レトログリーンラベル —

すべての種類、年代の貨幣をお持ち込みください!



コイン1枚あたり
わずか5米ドル!

(最低5枚以上のコイン。)

さらに、グレーディング料金



鑑定依頼には無料の
PCGSボックス!



詳しい情報については、
ブースNo.K4まで
お越しください。



www.PCGSasia.com

© 2016 Professional Coin Grading Service • A division of Collectors Universe, Inc.

606202

① [70%縮小図]



② [70%縮小図]



③



④



⑥



⑧



⑤ [70%縮小図]



⑦ [50%縮小図]

**ブースNo.B1~4
リスト**

- ① 享保大判金 方垂元書 鑑定 極美品 500万円
- ② 万延大判金 たがね打 元書 鑑定 極美品 300万円
- ③ 正徳小判金 背本甚 鑑定 極美品(+) 370万円
- ④ 会津銀判 二分 大菊 鑑定 極美品 280万円
- ⑤ 旧1円金貨 明治9年 縮小タイプ 138枚発行
鑑定 PCGS MS63 300万円
- ⑥ オーストリア サルツブルグ都市景観
4ダカット 1628 13.85g EF 160万円
- ⑦ 旧国立銀行10円札 美~極 600万円
- ⑧ 古代エジプト フトレマイオス朝
フトレマイオス2世 (BC285-246)
オクタドラクマ金貨(8ドラクマ) BC253-243頃発行
アルシノエ2世 EF(-) 250万円

大切な収集品・重複品の処分をご検討の際は、是非弊社にご相談ください。

(株)新橋スタンプ商会

本社 〒105-0004 東京都港区新橋2-5-6 大村ビル3階
●営業時間/10時~18時(水10時~17時) ■休業日/日曜・祝日

☎0120-478-548

札幌本部 ☎0120-936-136

〒054-0804 北海道札幌市中央区南4条西6丁目 寺田ビル1F (東向)
営業時間/10時~18時 (土日祝~18時) ■休業日/第2・3日曜日
Twitter@y43a23u23

札幌店 ☎0120-590-117

〒050-0063 北海道札幌市中央区南3条西2丁目 KT3条ビル1F
営業時間/10時~18時 (土日祝~18時) ■休業日/第2・3日曜日
Twitter@shinbashistamp

祝 第27回東京国際コイン・コンヴェンション



(株)銀座コイン 会長
竹内 俊夫

コインの展示即売・買取
株式会社 **銀座コイン**

GINZA COINS CO.

人気TV番組
「開運なんでも鑑定団」
出演中!

よりよい品を 特別ご奉仕!

コインの専門店・銀座コインは江戸時代に造幣局があった銀座でコインの売買一筋に48年。古今東西のたくさんのお金を展示販売している楽しいお店です。お手持ちの品を鑑定・評価し、ご希望の場合は買取も致します。ご来店をお待ち致しております。

書籍紹介

著者 竹内 俊夫
「お宝貨幣なんでも読本」
好評発売中!



TICC 27回 記念特別販売

- ※慶長小判金 前期 (1601~)
極美品 鑑定書付 170万円
- ※新1円銀貨 年号・状態各種 大放出 特別価格
- ※米 20ドル金貨 女神・立像 年号各種
未使用品 特別価格

TICCではブースNo.H7~10
銀座コインへお越し下さい。

Tel 03-3573-1960

〒104-0061 東京都中央区銀座5-1 銀座ファイブ1F FAX.03-3289-1860
ホームページ: <http://www.ginzacoins.co.jp> 電子メールアドレス: ginza-co@ginzacoins.co.jp

出品 受付中 第28回 銀座コインオークション ●平成28年11月20日(日) ●東京・帝国ホテル
「銀座コインオークション」は一定の手数料で、お手持ちのコレクションを公正にご処分いただける場所です。
国内外の貨幣すべてを対象としております。ご出品をご希望される方はお気軽にご相談下さい。

ブースナンバーC1～5にて皆様のお越しをお待ちしております

NGC社に加えてPCGS社のグレーディング料金も期間限定のキャンペーンを実施いたします。 業界最安値1枚¥3,500(税込)

★この特別料金が適用されるのは
(両社共に金貨は対象外となります)

日本最多のグレーディング実績の当社へGO!

[PCGS]

- ① 1978年までに発行されたコインで『申告価格』が1枚US\$1,000か¥120,000以内
- ② 1979年以降に発行されたコインで『申告価格』が1枚US\$300か¥36,000以内
- ③ グレーディング料金(¥3,500)には保険料が含まれています

[NGC]

- ① 1969年までに発行されたコインで『申告価格』が1枚US\$300か¥36,000以内
- ② 1970年以降に発行されたコインで『申告価格』が1枚US\$1,000か¥120,000以内
- ③ グレーディング料金(¥3,500)に加えて保険料(申告価格の1%)が別途必要(税込)です
- ④ 返却時運送料が¥500掛かります(何枚でも)(沖縄、島しょは¥1,200)
- ⑤ お預り期間は「2～3ヶ月」



“お手持ちの”世界で一枚だけの“手のひらサイズの世界遺産”に「グレーディングという付加価値」をお付けになりませんか？

グレーディングをしてスラブに入れる事で

- ① スラブに入ったコインなら安心して購入出来る
- ② コインの保管が安全で簡単
- ③ 手放す時でも評価が安定

★詳しくはまず当社宛にお電話下さい

★ホームページからもグレーディングの申込書がダウンロード出来ます

◎日本と世界のコインを高価買い入れ中◎



お手持ちのコイン・紙幣の市場価格をご存知ですか？

- ・私共は殆どの古貨幣、紙幣の国際的な取引価格を把握しています。
- ・従って単品は勿論、コレクションに含まれる全ての品目の鑑定・評価が可能です。
- ・又、日本は勿論、国外のバイヤーも熟知しているため、最高価格の提示が可能です。

古代から現代まで、全ての日本と世界の貨幣が査定可能。

- ・電話、FAX、メールでご売却品の内容をお知らせください。画像があればベターです。
- ・内容や価格がわからない場合は、ご持参いただくかお送りいただくことになります。
- ・コレクションや高額品の場合、ご希望により全国出張致します。出張費用は原則無料。
- ・当社以外に知られたくない場合、最初にご相談下さい。秘密は厳守致します。
- ・お急ぎでなかったり、売却希望価格がある場合、更に有利なメニューも用意しています。
- ・当社は、買い取り品も含め、年間10万枚以上のコイン、紙幣を取引する専門商社です。

プロも利用する当社の見積もりを受けてみませんか？



オークション・ワールド 次回メインセール 7月17日(日)

出品物のご相談等は…TEL 03-5425-6188 FAX03-5425-6189 info@auction-world.co



(株)ワールドコインズ・ジャパン WORLD COINS JAPAN

〒105-0013 東京都港区浜松町 2F, 1-15-5, Hamamatsucho
 1-15-5 コープ浜松町2階 Minato-ku, Tokyo, 105-0013
<http://www.coins.co.jp> JAPAN

責任者 石井栄一・克之助
 TEL 03-5777-0351 FAX 03-5777-0352 e-mail info@coins.co.jp
 営業時間 月～土 11:30～19:00 (日曜定休)

月・火・水曜日は事前にご予約頂いた方のみに限らせていただきますので、ご了承下さい。

JR浜松町駅北口 徒歩3分
 都営地下鉄大門駅 徒歩2分

中国人民银行 发行
Issued by the People's Bank of China



中国金币总公司 总经销
Solely distributed by China Gold Coin Incorporation

淬炼金银 传承文化
Refine the Bullion Inherit the Culture



中國長城硬幣投資有限公司 海外 SOLELY
China Great Wall Coins Investments Ltd. 總經銷 OVERSEAS
DISTRIBUTOR

香港皇后大道中183號中環大廈41字樓4101室
Unit 4101, 41/F., Cosco Tower, 183 Queen's Road Central, Hong Kong
電話 Tel: (852) 2543 3199 傳真 Fax: (852) 2854 0039
網址 Website: www.chinacoin.com.hk
電郵 Email: info@gwcoin.imsbiz.com.hk

TAISEI AUCTION 2016 — 4.30Sat. 泰星コインショップ

泰星オークション 2016



アメリカ
パナマ太平洋博覧会記念
50ドル(八角形)金貨
NGC MS63+



英国
ジョージ3世像1クラウン試鋳銀貨(通称スリーグレーセス)
NGC PF65



英国
ジョージ5世治世25周年記念1クラウン試鋳金貨
PF66+ ウルトラカメオ



オークション日時・場所

2016年4月30日(土)

10:00~18:00(予定)

ロイヤルパークホテル 4階(瑠璃)

下見や入札など詳細はお電話、Eメールでご連絡いただくか、泰星コインHPにて随時更新される情報をご確認下さい。



下見のご案内

4月12日(火)~4月27日(水) 9:00~17:00

※4月16日(土)のみ 10:00~17:00(受付16:00迄)

(泰星コイン本社は土・日・祝日休業です。)
(下見をご希望の方は事前にご連絡ください。)

会場ホテルで行われる下見は大変混雑されることが予想されます。
十分な下見時間をご提供できない可能性がありますので
泰星コイン本社での事前下見をお勧めいたします。

前日及び
当日は...

ロイヤルパークホテル4階(宴)

4月29日(金・祝) 10:00~18:00

4月30日(土) 9:00~15:00

オークション専用ダイヤル 平日9:00~17:30(土日祝を除く)

0120-94-8650

Eメール: auction@taiseicoins.com

泰星コイン株式会社 <http://www.taiseicoins.co.jp>

東京都豊島区東池袋2-23-2UBG東池袋ビル1F

泰星コインショップからのお知らせ

平日PM2:00までコイン買入れを致しております。

ご希望の際はお電話にてご相談ください。

0120-99-8335

月~金曜日(日・祭日を除く)

9:00~17:30 10:00~17:00

日・祝日はお休みとさせていただきます。また、土曜日は上記記載以外はお休みとなります。

土曜の営業日 5月7日

【営業時間】

ショップ 営業日 5月 カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

泰星コイン株式会社
TAISEI COINS CORPORATION

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2丁目23番2号 UBG東池袋ビル1F
TEL 03-3590-8233 FAX 03-3590-7088
<http://www.taiseicoins.co.jp>



フランス国立造幣局
〈モネ・ド・パリ〉



種を蒔く人シリーズ

テストン貨

2016年TICC記念 ユーロ・ミントセット

価格:5,400円(税込)

限定450セットを
TICC期間中に特別販売!

発行数500セット(日本割当450セット)



4月29日(金) ◆ 250セット販売

午前9時30分より、会場受付横にて整理券の配布を行います。
フランス造幣局ブースにて整理券と引換えの販売が優先となりますので、
ご購入をご希望の方は予め整理券を受け取るようお願い致します。

4月30日(土)・5月1日(日) ◆ 200セット販売

整理券の配布は行わず、先着順にフランス造幣局ブースにて販売致します。
尚、限定数に達した時点で販売を締め切らせていただきます。

